

第七十三回 帝國議會 衆議院 陸上交通事業調整法案委員會議錄(速記)第二回

付託議案  
陸上交通事業調整法案(政府提出)

(一四〇)

昭和十三年三月九日(水曜日)午後一時三十

分開議

出席政府委員左ノ如シ

内務政務次官 勝田 永吉君

内務省地方局長 坂 千秋君

出席委員左ノ如シ

星島 二郎君

理事清水徳太郎君 理事紅露 昭君

理事佐藤洋之助君

堤 康次郎君 中井川 浩君

松永 東君 堀内 良平君

坂下仙一郎君 愛野時一郎君 山田 清君

長野 高一君 深澤豊太郎君 上田 孝吉君

小笠原八十美君 北田 銳吉君

田中 好君 增永 元也君 安藤 孝三君

井阪 豊光君 淺沼稻次郎君 永江 一夫君

道家齊一郎君

三月八日委員安倍寛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ笠井重治君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月九日理事安倍寛君ノ補闕トシテ笠井重治君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 中島知久平君

○淺沼委員 委員長、宜シウゴザイマスカ

○星島委員長 宜シウゴザイマス——淺沼君

ハ地方的ニハ進ンデ此統制ニ參加スルノダ

ト云フコトガ言ハレテ居ツタノデアリマ

ス、併シ條文ノ中ニハ地方鐵道、軌道自動

車運輸事業斯ウ云フ風ニ書イテアリマシ

テ、條文ノ中ニ明白ニナッテ居リマセヌヤ

ウデスガ、何カ明白ニサレテ居ルノデス

カ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

陸上交通事業調整法案(政府提出)

○星島委員長 ソレデハ前回ニ引續イテ開

會致シマス、一寸御詰リシマス、理事ノ安

倍君ガ委員ヲ辭任セラレマシタ、ソレデ理

事ノ補缺選舉ヲ行ヒマスガ、先例ニ依リマ

シテ委員長ヨリ指名致シタイト思ヒマスガ、

御異議アリマセヌカ

「[異議ナシ]ト呼フ者アリ」

○星島委員長 御異議ナシト認メマス、笠

井重治君ニ御願致シマス、今大臣ハ御用談

中デアリマスカラ政府委員デ宜シウゴザイ

マスレバ、折角ノ時間デスカラ、簡単ナラ

バ御許シ致シタイト思ヒマス

ス、其際ニ國有鐵道ニ付テハ鐵道大臣ガ主

務大臣デアリマスカラ、同時ニ此國有鐵道

ヲ参加セシムルカ否カ、調整上必要トスレ

バ誠意ヲ以テ之ニ參加スルト云フコトヲ決

定シテ、サウシテ計畫案ト共ニ委員會ニ諮

問シテ、ソレニ依ツテ決定ガ出來ル譯デアリ

マス、一方ニ於テハ主務大臣トシテ行政内

部ノコトデアリマスカラ、ソレデ法文ガナ

クテモソレニ參加スルコトガ決定出來ル譯

デアリマス

○淺沼委員 サウスルト、主務大臣ハ調整

委員會ニ參加スル時ニハ、大體主務大臣ト

シテノ案ヲ持タレテ參加スル譯デスカ

○田尻政府委員 サウナル譯デアリマス、

唯委員會ニ漠然ト諸問スルノデハナクシテ、

主務大臣トシテ公益及ビ交通事業ノ基礎ヲ

確立スル意味カラ調整ノ必要ヲ認メタ場合

ニハ、斯ウスレバ此地域ニ於テ交通事業ノ

調整ガ出來ルト云フ計畫案ヲ立テテ、サウ

シテ委員會ニ諸問スル譯デアリマス

○淺沼委員 昨日大臣ノ答辯デハ何等案ヲ

持タズニ其處ニ出テ、其處デ決メタコトヲ

決定スルヤウニ言ハレテ居ツタノデスガ、今

政務次官ノ答辯トハ幾分差異ガアルヤウデ

アリマスガ、若シ政務次官ノヤウナ御話トシタラ想定區域ガアラレル思フノデスガ、現在鐵道省トシテハ一體何處ノ土地ヲ中心トシテ、何處ノ地域ニ於テ統制ヲスル御考デアルカ、何カ腹案ヲ御持チデシタラ、一ツ御示シヲ願ヒタイ

○田尻政府委員 大體此調整法ハ全國的ニ適用ガ出來ル趣旨デハアリマスケレドモ、差當シテ特ニ調整ノ必要ヲ痛感サレル所カラ

發動シテ行ク譯デアリマシテ、具體的ニハ此法案が成立ノ上デ、内務省其他ノ關係方面トモ協議ノ上デ其區域ヲ決定シテ掛ル段取ニナル譯デアリマス

○達沼委員 大體案ガ通過シテ後ニ何處ヲヤルカト云フコトヲ決定スル仕方ダト思フノデスガ、案ヲ作ル前ニ此案ガ出テ來ルト云フカラニハ、例ヘバ東京市ノ如ク、或ハ大阪市ノ如ク、謂ハゞ六都市ノ如キ非常ニ幅湊シテ居ルモノヲ統制シナケレバナラヌ、大臣ハ民間カラモサウ云フヤウナ聲ガ起シタル想定セル區域ヲ持ッテ居フナケレバナラヌト思ノノデス、何カ腹案デモアリマシタラモウ一遍御伺シタイ

○田尻政府委員 大體東京、大阪、其他六

大都市ノ如キガ先づ以テ此區域ト認メラルベキデハナカラウカト考ヘテ居ル譯デアリマスケレドモ、マダ具體的ニ決定シテ居ル譯デハナイノデアリマス

○星島委員長 ソレデハ上田孝吉君

○上田委員 私ハ大體本案ノ如キ法律ノ必要ナルコトヲ今ヨリ數年以前ニ於テ叫ビ、

又自動車強制買收法案ト稱スルモノヲ今ヨリ數年前ニ既ニ議員提出案トシテ議會ニ提案シテ來タヤウナ事情デアリマスルカラ、

此法案が成立ノ上デ、内務省其他ノ關係方面トモ協議ノ上デ其區域ヲ決定シテ掛ル段取ニナル譯デアリマス

○達沼委員 大體案ガ通過シテ後ニ何處ヲヤルカト云フコトヲ決定スル仕方ダト思フ

ノデスガ、案ヲ作ル前ニ此案ガ出テ來ルト云フカラニハ、例ヘバ東京市ノ如ク、或ハ

大阪市ノ如ク、謂ハゞ六都市ノ如キ非常ニ幅湊シテ居ルモノヲ統制シナケレバナラ

ス、大臣ハ民間カラモサウ云フヤウナ聲ガ起

シタル想定セル區域ヲ持ッテ居フナケレバナラ

スルモノデス、何カ腹案デモアリマシタラ

モウ一遍御伺シタイ

例ヲ舉ゲマスト例ヘバ軌道法ニ於キマシテ

モ、國又ハ公共團體ガ公益ノ必要ニ依ッテ軌道全部、又ハ其一部或ハ其附屬物件ヲ買收マシテハ、今申シタヤウナ各種ノ角度カラセントスル時ヘ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ナイト云フヤウナ法律ヲ以テ規定シテアルコトデアリマス、是ハ勿論一例デアリマスガ、サウ云フヤウナ事情デアリマスル

アルコトデアリマス、是ハ勿論一例デアリマスガ、サウ云フヤウナ事情デアリマスル

ノミナラズ、大體大都市ニ於テ考ヘテ見マ

スト云フト、大都市ノ市長ハ道路管理者デ

アリマシテ、同時ニ其道路ノ新設改修ニ付

案シテ來タヤウナ事情デアリマスルカラ、

大體ニ於テ本案ノ御趣旨ニ對シテハ私ハ贊成デアリ、寧ロ御提案ニナルコト遲キニ失

スルノ感ヲ持ッテ居ル位デアリマス、其事ヲ

先づ申上ゲマシテ、鐵道大臣ニ御聽キ致シ

タイコトヘ、本案ヲ見マスト云フト大體公

企業所謂公共團體ノ經營ニ關スルコトモ、

又民營事業ニ關スルコトモ一律ニ御規定ニ

ナシテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、トコ

ロガ既ニ今マデノ法案ヲ見マスト云フト、

公共團體ハ公益ヲ主トスルモノデアリマ

スルガ爲ニ、常ニ優先的ノ立場ニ立ッテ居

ル法規ガ多イノデアリマス、民營會社モ勿

通事業調整ヲシヨウト云フ時ニハ、先づ公

共團體ヲ第一義ニ考ヘテ行カナケレバナラ

ス、但シ公共團體ガ其團體ノ地域内ニ於テ

大部分、一例ヲ舉ゲマスレバ大阪市ノ如キ

事業ヲヤッテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、今申シタヤウナ各種ノ角度カラ見マシテ、ドウシテモ公共團體ヲ先づ第一

鐵道大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居ルカ承リ

タイノデアリマス

○中島國務大臣 本調整法ノ目的ハ要スルニ一般民衆及ビ現在ノ競争カラ現レテ來ル

色々ノ不經濟不利益等ヲ除去スルコトガ目的デアルノデアリマシテ、其目的ガ達セラ

レルナラバヤハリ一般民衆ノ公益ヲ増進ス

ルノ目的ガ達セラレルモノト考ヘテ居ルノ

デアリマス、此調整法ヲ實施スル上ニ於キ

マシテハ、豫メソコニ優先ノ序列ヲ定メテ

置イテハ中々調整ノ目的ヲ達スルノニ、色

色ノ抵抗其他ノ點モアラウト思フノデアリ

マシテ、全ク虛心坦懷、何等ノ條件ヲ茲ニ

考ヘズニ其地域々々ニ於テ最モ良キ方法ヲ

調整委員會等ノ意見ニ從ツテヤッテ行クコト

ガ一番宜イノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居ル

等ノ條件トカ、サウ云フヤウナコトヲ考ナ

イデ、調整委員會ニ於テ調整ヲスルト云フ

○上田委員 ドウモ少シ鐵道大臣ノ御答辯

ハ遺憾ナ點ガアルノデアリマスガ、全ク何

モウ一遍御伺シタイ

意味ヲ仰シヤツタヤウデアリマスケレドモ、ソレデハ調整ガ出來ヌデヤナイカト思フ、モノデ、古イ色ンナ因縁トカ、情實トカ云フヤウナコトハ御考ニナル必要ハナイカモ知レマセヌガ、其調整ヲシヨウトスル現在ノ情勢ノ時ニ於テ、今私ガ申上ゲタヤウニ公共團體ガ其道路ヲ自ラ造ッテ來テ居ル、而モ其市長ハ道路ノ管理者デアル、而モ其地域内ノ大部分、或ハ最モ重要ナル部分ノ交通ノ事業ヲ既ニヤリ、市民ノ公益、便益ノ爲ニ仕事ヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナ場合ニソレヲ何等考ヘズニヤルト云フヤウナコトハ出來ル條件ヲ見テ甲ト乙、ドチラニ調整ヲシタ方ガ宜イカ、ドチラニ合併サシタ方ガ宜イカ、ドチラニ買收サシタ方ガ宜イカト云フコトヲ其時ノ條件ニ依リ、其時ノ内容ニ依ッテ其時ニ於ケル公益上ノ大小ヲ考ヘテ見テ判断シナケレバナラヌノニ、ソレヲ白紙デ何モ考ヘズニヤルト云フコトデハ調整ガ出來ヌト云フヤウナ結論ニナルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトハドウ云フ意思デゴザイマセウカ、モウ一遍承リタイト

定シテ進ムト云フコトハ、既ニ調整ト云フ  
コトノ本旨ニ外レタコトデハナイカト考ヘ  
ルノデアリマス、ヤハリ主務大臣トシテハ  
何等ソレ等ノコトハ豫メ決定セズニ虚心坦  
懐、衆智ヲ集メ、サウ云フヤウナ總テノ情  
勢ヲ判断ノ基礎ニシテ調整委員會ノ色々々ノ  
意見ノ定マル所ヲ参考トシテ善處シテ行ク  
ト云フコトニシテ置イタ方ガ穩當デハナイ  
カト、斯ウ考ヘテ居リマス

○中島國務大臣 調整ニ關シテハ慎重ヲ期スル意味ニ於テ、調整委員會ニ諮問スルノデアリマスルシ、調整委員會ハ各方面ノ人達ヲ以テ構成スルノデアリマスルカラ、只今上田君ノ仰セラレタヤウナ、色々ノ要素モ十分考慮ニ入レ、又他ノ色々ノ事情等モ考慮ニ入レテ成案ヲ得ルコトト考ヘルノデアリマス、只今上田君ノ仰セラレタヤウナコトガ全ク没却サレルコトハ無カラウト考ヘルノデアリマス

○上田委員 尚ホ徹底シナイノデアリマスガ、此邊デ、内務政府委員ノ意向ヲ聽イテ置ク方ガ、政府ヲ統一サレル上ニ於テ宜イト思ヒマスカラ、内務政府委員ノ答辯ヲ聽キタイト思フ點ハ、先程來繰返シタヤウナコトデアリマスガ、從來吾々ノ多少考へテ居リマスコトハ、往々ニシテ政府部内ニ於テ、鐵道省ノ方ハ兎角單ナル交通ト云フコトノミニ主眼ヲ置カレテ、公益ト云フコトノ考へ方ガ薄イノデハナイカト云フヤウナコトヲ思ヘナイ譯ニハ行カナイ點モ多々アルノデアリマス、併ナガラ公益ヘドウシテモ民營モヤッテハ居リマスルケレドモ、公共團體ノヤッテ居ル交通事業程徹底シタ公益ノ事業ハナイノデアリマシテ、先程來モ縷々

カラ見マシテモ、先づ公共團體ガ陸上交通事業ヲヤツテ居ル場合ニ於テ、第一義的ニ其公益團體ノ交通事業ト云フモノヲ考ヘテ見ナケレバナラヌコトデアラウ、隨テ市長ニ「バス」ノ出願ガアレバ諸問スルト云フヤウナコトガアルシ、法律ニモ規定ガアル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、内務政府委員トシテハサウ云フ點ニ付テドノヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ伺ヒタク

○勝田政府委員 交通事業ヲ公共團體デヤラスガ本筋デアルカ否ヤト云フ點ニ付キマシテハ、色々考ヘ方モアルノデゴサイマスルガ、率直ニ申シマスルト、吾々トシマシテハ此事業ノ性質竝ニ道路ノ使用ト云フヤウナコトカラ考ヘマシテ、ヤハリ公益團體ガ何等ノ行掛リガナケレバヤルノガ本筋デハナイカトス様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、譬へテ申シマスレバ、新シク町ヲ造ル、今マデ何等ノ行掛リガナイト云フヤウナ所ニ市民ノ交通機關ヲ拵ヘルト云フコトデアレバ、此市自身ガヤルコトガ無論理想的形態デアラウトス様ニ考ヘルノデアリマス、併ナガラ現在各都市ニ行ハレテ居リマス色々ノ交通事業ヲドウ云フ風ニ處置スルカト云フコトニナツテ參リマスト、サウ簡単ニ參リ

大臣ガ御述ニナツタ通り、交通事業調整委員會ノ意見ヲ聽イテ、サウシテ慎重ニ決メラリマス、只今御述ニナリマシタ例ニモ、例ヘバ大阪市ガ大阪ノ現在ノ交通機關ノ三分ノ二ヲ實際ヤツテ居ルト云フヤウナコトハ、是ハ常識ト致シマシテハ、交通事業調整委員會ニ於テモ、十分考慮セラルベキ事實デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○上田委員 只今ノ内務政府委員ノ答辯ハ私ノ質問ニ嵌ツテ來テ居ルト思フノデアリマスガ、政府不統一デアル筈ヘナイト思フノデアリマスカラ、鐵道大臣ニ御意向モサウ云フ御意向ダト拜承シテ宜イカドウカトコトハ、此案ヲ見マスト、要スルニ、第一條ト第二條ガ主眼ヲ成シテ居ルノデアリマシテ、第二條ハ調整ノ方法ヲ規定シタルモノデアリマスガ、此第二條ノ交通事業調整委員會ノ意見ヲ徵スルト云フ點、或ハ更ニ第三條ニ主務大臣ガ裁定スル時ニハ交通事業調整委員會ノ意見ヲ徵スルト云フ條項ガアリマスガ、之ニ更ニ少クトモ、大都市ノ場合ニ於テハ、其大都市ノ市長、所謂道路

管理者ノ意見ヲ徵スルト云フコトヲ加ヘテ  
置ク必要ガアルデハナイカ、從來ノ取扱ハ  
先程縷々申上ゲマシタヤウニ、其道路管理者  
ノ意見ヲ徵シテ來テ居ルノデアリマス、諮  
問シテ來テ居ルノデアリマス、デアリマス  
カラス、スウ云フ一ツノ陸上交通事業ノ計画的  
ノ法案ガ出ル以上ハ、此際ニ於テモヤハリ  
其道路管理者ノ意見ヲ徵スルト云フコトヲ  
茲ニ規定シテ置ク方ガ宜イデハナイカ、交  
通事業調整委員會ノ意見ヲ徵スルト同時ニ  
道路管理者ニ諮問シテ、其意見ヲ徵スルト  
云フコトヲ附加ヘテ置ク方ガ宜イデハナイカ、  
又ソレヲ明確ニ、所謂案ヲ修正スルト云フ所  
マデ行カナクトモ、此交通事業調整委員會ノ  
内容組織ヲ決定スル場合ニ於テ——細カイ  
コトハ此際聞キマセス、他日聞ク必要ガアレ  
バ聞ク場合モアルト思ヒマスカラ——少ク  
トモ、此交通事業調整委員會ノ組織内容ニ於  
テ、道路管理者及ビ公共團體——法理上ハ  
違ヒマスガ、少クトモ道路管理者、公共團  
體ヲ此委員會ノ重要ナ組織ノ中ニ入レテ置  
クト云フコトガ必要デアルヤウニ思フノデ  
アリマスガ、其點ハ如何デアリマセウカ、  
此第一點ト第二點ニ付テ、内務當局ノ意見  
カラ先ニ伺ヒマス

少シモ扞格ヘアリマセヌ、ヤハリ先刻御話申上ガマシタ通り、最モ公正ヲ期スル爲ニ調整委員會ト云フモノヲ設ケテ、其意見ヲ徴スルノデアリマスカラ、其調整委員會ハ公共團體ノ色々ノ要求要素等モ十分考ニ入レ、又其他ノ考モ入レ、之ヲ綜合シテ意見ヲ立テルモノト思フノデアリマスカラ、決シテ上田君ノ今言ハレタヤウナ事ガ沒却サレルトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、先刻申上ゲマシタ通り、特ニ公共團體ニ優先權ヲ與ヘルト云フコトハ決メテ置カナクトモ——又置カナイ方ガ工合好ク行クデアラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
ソレカラ第二點ニ付キマシテハ、ヤハリ此調整委員會ガ出來マスレバ、市長トカ或ハ公共團體ノ意見ハ當然十分ニ聽クモノデアル、之ヲ聽カズニヤルト云フヤウナコトハアルマイト思フノデアリマス、兎ニ角調整委員會ヲ多數ヲ以テ設置スルト云フコトハ、諸般ノ事情ヲ能ク審査シテ、サウンテ誤リナク公平ニ行ヘルヤウニシヨウト云フノガ趣意デアリマスカラ、例へバ大阪市ノ調整ヲ行フ時ニハ、大阪市長其他ノ意見ハ、十分ニ之ヲ聽取スルコト考ヘテ居リマスカラ、特ニ之ヲ本文ニ入レテ置カナクトモ、其目的ハ十分ニ達シ得ラレルコトト

考ヘテ居ル次第デアリマス  
○上田委員 其趣旨ハ只今大臣ノ御答辯ノ通リニナルデアラウト思ッテ居リマス、ソレハ諒承シマス、併ナガラ其御考ノ通リニ、唯荒漠トシテ規定モナケレバ、政府ノ言明委員會ト云フモノガ斯ノ如ク公明ニ、斯ノ如ク正シク行フカドウカト云フコトハ、ヤハリサウ云フヤウニ行カナイコトモ考ヘテ見ナケレバナラヌノデアリマス、ダカラ只今大臣ノ仰シヤッタヤウナコトニ行クベキ苦デアルト云フコトハ、私ハ諒承シマスケレドモ、行カナイ場合モ考ヘテ見ナケレバナラヌカラ、私ハ質問ヲシテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニ大臣ノ交通調整委員會ニ對スル將來ノ理想トカ、希望トカ云フコトデハナシニ、政府ノ意見トシテ、此第二條及ビ第三條ニ於テ交通事業調整委員會ノ意見ヲ徵スルト云フコトノ外ニ、道路管理者ノ意見ヲ徵スルト云フコトヲ附加ヘル方ガ宜イト思フガ、如何カト云フコトト、同トモ、此交通調整委員會ノ組織內容ニ於テ、道路管理者及ビ公共團體ノ意見ヲ十分ニ酌入レルコトガ出來ルヤウナ組織ニスルノダ、政府トシテ斯ウ云フ御言明ガ得ラレル

カドウカト云フコトヲ御聞キスルノデアリ

マス

○中島國務大臣

調整委員會ノ方デモ色々

當該市長トカ、或ハ公共團體、其他ノ意見ヲ

聽クコトハ勿論デアラウト思ヒマスガ、政

府ト致シマシテモ、調整委員會ノ意見ヲ

イテ裁定ヲスルノデアリマスケレドモ、又調

整委員會カラ聽ク聽カヌニ拘ラズ、大體政

府ニ於テモ裁定ヲ下ス場合ニハ、ヤハリ市

長其他ノ意見モ能ク聽カナケレバナラナイ

ト思ヒマスカラ、聽カナイコトガアルデハ

ナイカト云フヤウナコトハ、御心配御無用

ト思フノデアリマス、此點ハ一ツ御安心下

スステ宜カラウト考ヘテ居リマス

○上田委員

尙ホ徹底セザルノ嫌ガアリマ

スガ、マア其程度ニ致シテ置キマセウ、モウ

少シ御聽キシテ置キトイコトハ、公共團體

ノ地域内ニ於テ本案ノヤウナ交通事業ガ營

マレマスル會社ガ組織サレヨウツル時ニ、

ニナルコトガ出來ルカドウカ、又發起人デ

ナイ所謂既設ノ會社ノ場合ニ於テモ、現物

出資ヲスルコトガ出來ルカドウカ、商法ノ

規定ニアル通り、發起人デナイモノハ既設

會社ニ於テハ現物出資ガ出來ヌコトニナル

ノデアリマス、併ナガラ今後此調整ヲヤッテ

行カウトスル場合ニ於テ、其公共團體ノ地  
域内ニ新設會社ガ出來ル時ニ、公共團體ハ  
發起人ニナルコトガ出來ルカドウカ、又既  
設會社ト公共團體トガ共同ノ事業ヲヤル場  
合ニ、現物出資デ行クコトガ出來ルカドウ  
カト云フコトヲ明ニシテ置ク必要ガアルト  
思フノデアリマスガ、其點ハ如何デゴザイ  
マセウカ

○勝田政府委員 公共團體ガ公益上ノ必要  
ノアリマスル場合ニ、會社ノ發起人ニナル  
コトガ出來ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙  
ホ御尋ノ現物出資モ出來ル、斯ウ云フ見解  
ヲ下シテ居ルノデアリマス、隨テ實際問題ト  
致シマシテハ、公共團體ノ斯ウ云フ仕事ニ  
參加スル場合ハ、恐ラク現物出資ノ形態ニ於  
テ参加スルノデハナイカト考ヘテ居リマス  
○上田委員 大體私ノ鐵道大臣、內務大臣  
ニ聞ク大綱ノ質問ハ此程度デ打切ッテ置キ  
マス、尙ホ政府委員ニ對スル細カイ質問ハ  
保留致シマシテ、又後日適當ノ機會ニ御聞  
きスルコトニ致シタ伊思ヒマス

○星島委員長 申込ノ順序ニ依リマスト山  
田清君デアリマスガ、今席ニ居ラレマセヌ  
ノデ、先程松永君カラ、大臣ヲ特ニ御選ビ  
ニナタヤウデスガ、簡單デアリマスレバ、  
松永君ニ御許シ致シマス

○松永委員 簡單デアリマス

○星島委員長 ソレデハ松永君

シタ御答辯ニ對シテ、大體私ハ分ッタノデ

アリマス、併シイマ少シ御伺シテ見タイ

點ハ、先程ノ質問ニ對スル御答辯ニ、此法

案ハ主トシテ會社ヲ作ルノミガ目的デナ

ク、公共團體ガ調整後ノ事業主體ニナルコ

トモヤハリ想見シテ立案シタノダト云フコ

トヲ承リマシタ、所ガ此陸上交通事業調整

案法ト云フモノヲ再讀、三讀スルト、此法案

ノ狙フ所ハ、唯單ニ新シイ會社ヲ作ルカ、

若クハ合併ニ依ツテ新設會社ヲ作ツテ、サウ

シテ其手ニ依ツテ交通事業ヲ經營セシメヨ

ウト云フコトノ外ニハ、從來營業シテ居ツタ

所ノ公共團體ガ、其調整後ノ事業主體ニナツ

テ經營スルト云フヤウナ點ヲ見出スコトガ

出來ナイ、此事業法案ノ全部ヲ讀ンデ見マ

シテモ、殆ド何處ニモサウ云フコトヲ摘出

スルコトガ出來ナイ、ソレデ私ハ上田君ノ

質問ト多少重複スル嫌ガアリマスケレド

モ、ヤハリ從來久シキニ瓦ツテ營業ヲ繼續致

シテ居ル大都市ニ於ケル公共團體、是ハ有

モ、ヤハリ從來久シキニ瓦ツテ營業ヲ繼續致

シテ居ル大都市ニ於ケル公共團體、是ハ有

モ、ヤハリ從來久シキニ瓦ツテ營業ヲ繼續致

シテ居ル大都市ニ於ケル公共團體、是ハ有

モ、ヤハリ從來久シキニ瓦ツテ營業ヲ繼續致

テ居ルノデアリマス、勝田内務政務次官ノ  
御答辯ニ依リマスト、何等ノ行掛リガナイ

ナラバ、勿論公共團體ヲ事業主體ニスルコ

トヲ希望シテ居ルト云フヤウナ御説デアリ

マシタ、即チ例ヲ舉ゲテ、是カラ新ニ都會

ヲ造ルト云フヤウナ場合ニハ、勿論其公共

團體、即チ其市ノ經營ニスルコトガ當然ダ

ト云フ風ニ御説明ガアリマシタガ、私共ハ

此御答辯デハ甚ダ意ヲ得ヌ、是カラ新ニ市

ガ出來、新ニ都會ガ創造サレルト云フ所ヘ、

トヲ承リマシタ、所ガ此陸上交通事業調整

案法ト云フモノヲ再讀、三讀スルト、此法案

ノ狙フ所ハ、唯單ニ新シイ會社ヲ作ルカ、

若クハ合併ニ依ツテ新設會社ヲ作ツテ、サウ

シテ其手ニ依ツテ交通事業ヲ經營セシメヨ

ウト云フコトノ外ニハ、從來營業シテ居ツタ

所ノ公共團體ガ、其調整後ノ事業主體ニナツ

テ經營スルト云フヤウナ點ヲ見出スコトガ

出來ナイ、此事業法案ノ全部ヲ讀ンデ見マ

シテモ、殆ド何處ニモサウ云フコトヲ摘出

スルコトガ出來ナイ、ソレデ私ハ上田君ノ

質問ト多少重複スル嫌ガアリマスケレド

モ、ヤハリ從來久シキニ瓦ツテ營業ヲ繼續致

シテ居ル大都市ニ於ケル公共團體、是ハ有

モ、ヤハリ從來久シキニ瓦ツテ營業ヲ繼續致

シテ居ル大都市ニ於ケル公共團體、是ハ有

モ、ヤハリ從來久シキニ瓦ツテ營業ヲ繼續致

シテ居ル大都市ニ於ケル公共團體、是ハ有

経

營致シマスニハ相當長イ年月ヲ要シテ居リ

マス、色々ノ方面カラ改正ヲ加へ是正ヲシ、

サウンテ今日ノ經營ヲヤッテ來テ居ルノデ

アリマス、而モ公共事業ノ本質カラ考ヘテ

見テ、ドウシテモ公共團體ガ原則的ニ主

體トナツテヤルト云フコトガ當然デアルト

考ヘラレルノミナラズ、其投資額ノ上カラ

申シマシテモ、更ニ道路ヲ管理スル主體ガ

公共團體デアルト云フ點カラ考ヘテ見マシ

テモ、其管理シテ居ル道路ノ上ヲ走ル所ノ

電車「バス」自動車、サウ云フ方面ヲ、ヤハ

リ管理權ヲ有シテ居ル所ノ公共團體ガ、調

整後ノ營業主體トナルト云フコトガ原則デ

ナケレバナラスト云フヤウニ私共ハ考ヘル

ノデスガ、此點ニ付テ更ニ御意向ヲ承ッテ見

タイト思ヒマス

○中島國務大臣 先刻モ申シマス通リニ、色々ノ事情ガアリマセウカラ、原則ヲ茲ニ決メテ置クコトヘドウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、假令原則ガナクトモ、要スルニ實際ノ情勢ニモ適シタヤウニ相

互間ニ於テ相談シ調整セラレテ行クノデアリマシテ、若シモ纏ラナイヤウナ場合ニハ、ヤハリ衆智ノ定マル所ニ準據シテ裁定シテ

行クト云フコトニナルノデアリマスルカ、寧ロ原則ヲ決メテ置カヌ方ガ工合良ク

行クノデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○勝田政府委員 先程私ガ上田君ノ御質問ニ對シテ述べマシタコトニ付テ、松永君カラ御話ガアリマシタカラ、一言明白ニ致シテ置キマス、上田君ノ御質問ハ、交通事業

ノ本質論ガ一ツ、實際論ガ一ツ、斯ウ云フ

ヤウニ分レテ居ツタヤウニ私ハ拜聽致シタ

ノデアリマス、ソコデ私ハ本質論ト致シマシテハ、是ハ仕事ノ性質カラ言ツテ、公共團體デヤルノガ本則デアル、斯ウ云フコトヲ

ノデアリマス、ソコデ私ハ本質論ト致シマシテハ、是ハ仕事ノ性質カラ言ツテ、公共團

ノモト雖モ主體ニナリ得ルノデアリマス、

調整法案、之ヲ全面的ニ何レノ點ヲ見マシテモ、公共團體ガ調整後ノ營業主體ニナリ得ルト云フヤウナ規定ガナイノデアリマス、

マシテ「主務大臣ハ前項ノ決定ニ依リ陸上

交通事業經營者ニ對シ前項第一號ノ事項ノ

實施ヲ勸告シ又ハ同項第二號乃至第八號ノ

事項ノ實施ヲ命ズベシ」斯ウアリマシテ、即チ一號ト二號以下ヲ切離シテ、一號ハ實

施ヲ勸告スルト云フコトニナツテ居ルシ、二號乃至八號ハソレヲ命ズベシト云フ取扱ノ

異ニナツテ居ル所ニ見マシテモ、私ハ會社ノ

合併ノミシカ想定シナクテモ、此法案ガ出

ハ受託」ト云フヤウナコトデモ出來ルノデア

フコトデモ出來マシ「事業ノ管理ノ委託又

リマシテ、決シテサウ云フヤウナ道ガナイ

ト云フコトニハナツテ居ラヌノデアリマス、

ソレハ第二條ノ「事業ノ讓受又ハ譲渡」ト云

フコトニハナツテ居ラヌノデアリマス、

ト同ジ取扱ヲ受ケナケレバナラヌ性質ノモダラウト思フ、然ルニ二條ノ二項ニ於キマシテ「主務大臣ハ前項ノ決定ニ依リ陸上

交通事業經營者ニ對シ前項第一號ノ事項ノ

實施ヲ勸告シ又ハ同項第二號乃至第八號ノ

事項ノ實施ヲ命ズベシ」斯ウアリマシテ、即チ一號ト二號以下ヲ切離シテ、一號ハ實

施ヲ勸告スルト云フコトニナツテ居ルシ、二號乃至八號ハソレヲ命ズベシト云フ取扱ノ

異ニナツテ居ル所ニ見マシテモ、私ハ會社ノ

合併ノミシカ想定シナクテモ、此法案ガ出

ハ受託」ト云フヤウナコトデモ出來ルノデア

フコトデモ出來マシ「事業ノ管理ノ委託又

リマシテ、決シテサウ云フヤウナ道ガナイ

ト云フコトニハナツテ居ラヌノデアリマス、

ソレハ第二條ノ「事業ノ讓受又ハ譲渡」ト云

フコトニハナツテ居ラヌノデアリマス、

事項デアルガ故ニ、勧告ヲスルト云フコトニナッテ居ル、幾ラ巨額ノ資本ヲ投ジテ營業シテ居ツテモ、公共團體ノ營業ハ大臣ノ命令一本デ、直チニ自由ニ處分サレルト云フコトニナルノデゴザイマセウカ、其點ヲ御伺シタイ

○中島國務大臣 サウ云フ風ナ意味デハナイノデス、事業ノ譲受、譲渡、其他共同經營トカ、或ハ事業ノ管理ノ委託、受託ト云フヤウナモノハ、現行法律ノ範圍ニ於テ命令シ得ルノデアリマスガ、會社ノ合併及ビ設立ハ、ソレガ困難デアルト云フダケノ事情デアリマシテ、外ノ會社ト會社ノ間ト雖モ、事業ノ譲渡、譲受等ハ命令ヲ以テ行ヒ得ルノデアリマス、譲渡、譲受等ハ會社タルト公共團體トヲ問ヘズ出來ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス

○松永委員 是ハ法文ノ解釋ニモ關係シテ居リマスカラ、是ハ後デ事務當局ニ又才同致スコトニ致シマス、唯斯ウ云フ點ヲ一つオ伺シタイノデスガ、二條ノ一號即チ會社ノ合併又ハ設立、是ハ實施ヲ勸告スルト云フコトガ同條ノ二項ニナッテ居リマス、ソコデ三條ニハドウ云フコトニナッテ居ルカト云フト、三條ノ一項デハ二項ノ勸告ニ依ッテ主務大臣ノ指定スル期間内ニ協定ヲ爲シタ

ル時ハ、是ガ認可ヲ申請スペシト云フコトニナッテ居ル、然ラバ此勸告ガ出來ナカッタ時ニハ、詰リ實施ノ勸告ヲ主務大臣ガナサッテ、サウシテ其實施ノ勸告ガ出來レバ宜シケレドモ、出來ナカッタ時ニハ一體ドウナルノデスカ

○中島國務大臣 要スルニ此調整法ハ、現在事業者間ニ現在ノ狀態ヲ憂ヘテ調整シタイト云フ希望ガ滿チテ出來テ居ルノデアリマスカラ、大體勸告ト云フヤウナコトヲシナクトモ、ヤリタイト云フ氣分ニ滿チテ居ル時デアリマスカラ、何カ茲ニ一寸斯ウ云フヤウナ水ヲ向ケテヤレバ出來ルヤウナ場合

十年苦心慘憺シテ營業實績ヲ擧ゲテ居ルモノデモ、直チニソレヲ合併セラレ、若クハ合併セヌケレバナラスト云フ運命ニ遭遇スルコトニナルノデアリマスカラ、此點ニ付テ偏頗ナ取扱ガアルノデハナイカト云フコトヲ虞レル、ソレヲ一ツ承リタイ

○中島國務大臣 兹ニ列記シテアリマス通り、調整ノ方法ハ會社ノ間ト雖モ決シテ合併及ビ設立ダケデハナイノデアリマシテ、

○松永委員 大體分リマシタ、斯ウ云フコトハ御豫想ナサラナカッタノデセウカ、今一

番私共ガ見テ——東京デモ大阪デモデスガ、一番統制ヲ急ガナケレバナラスト思フヤウ

ナ問題ハ、「バス」ノ重複經營デス、同一ノ路線ニ、東京デ申シマスナラバ青「バス」ア

リ東京市ノ「バス」ガアル、之ヲ何トカ一日モ早ク統制シテ戴カナケレバ、無用ナ

「ガソリン」ヲ使ツテ、不必要ナ空車ヲ始終廻シテ居ラナケレバナラス、是ハ何人ガ見テ

モ一日モ速ニ統制ヲセヌケレバナラスト云フコトガ考ヘラレル、建設資本ヲ多額ニ投

ジテ居リマス所ノ、例ヘバ銀座ヲ假定ニ取ツテ見マスト、或ハ市電ノ路面電車、或ハ地

下鐵或ハ省線電車、斯ウ云フモノヲ統制スルト云ッテモ、急速ニハ片ガ付カヌト思フ、

差詰メノ統制ヲスルノニハ此「バス」ヲ——同

ジ路面ヲ青「バス」ガ通り或ハ市「バス」ガ通リシテ居ルコトハ、吾々素人目ニ見テモ甚

ダドウモ不合理デアル、斯ウ考ヘテ居リマス、之ニ付テ若シ第二條ノ中ニ運轉方法ノ

制限トカ何トカ云フコトヲ、大臣ノ命令ニ依ツテ明日カラデモ制限サレルヤウナコトガ出来ルモノデアリマセウカ、サウ云フ點ヲ御挿入ニナル御意思ハナイモノデゴザイマセウカ、ソレヲ承リタイ

○中島國務大臣 松永君ノ仰セノ通り、一路線ノ上ニ「バス」ガ何本モ競争シテ居ルヤウナモノハ、調整スベキ対象ノ主ナルモノデアラウト考ヘラレマス、隨テ斯ウ云フコトハ此調整法ヲ發動サレル場合ニハ先づ第一ニ調整ノ中ニ入レラレテ來ルモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ直チニ鐵道大臣ガソレヲドウスルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌガ、調整法ノ發動セラレル場合ニハ當然ソレガ對象ノ一つニナルモノト考ヘテ居リマス

○松永委員 今ノ「バス」ノ運輸方法ノ制限ナンカニ付テノ規定ガナインデゴザイマスガ、併シ是ハ大臣ニ御伺スルヨリモ、後刻時機ヲ見テ事務當局ニ御質問申上ゲルコトニシテ私ノ質問ハ終リマス

○堤委員 一寸關聯シテ御伺シマスガ、私ハ此案ハ餘リニ微溫的デアッテ、當局ノ目的トセラル、期待ニ副フヤ否ヤ頗ル疑問ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、先程鐵道大臣ハ松永君ノ質問ニ對シテ、協議ガ纏マラヌ時

ニハ適當ナ機會ヲ待ツヨリ外仕方ガナイト云フヤウナコトガアリマシテ、後ニ多少ソレヲ訂正セラレタヤウデアリマスガ、是ハ非常ニ重要ナ點デアリマス、其兩方ノ協定ト云フモノハ餘程當局ガ強ク之ヲヤッテ行カナケレバ纏マルモノデハナイノデアリマシテ、此點ハ餘程重要ダト思フノデスカラ、之ヲ一ツ明確ニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス

○中島國務大臣 私ガ或ル時機マデ待ツト申上ガタノハ、會社ノ合併、設立ト云フコトヲ勸告ダケデ行カウ、勸告一本槍ノ場合ニハサウナルノデアル、併シ勸告以外ニ調整ノ方法ガアルノデアリマスカラ、他ノ方法ヲ用ヒルナラバサウ待タナイデモ行ケルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○堀内委員 關聯シテ一寸大臣ニ御尋致シマスガ、實ハ今朝ノ新聞ヲ見マスト、東京市ニ於キマシテ、市ノ電氣局長ガ、東京ノ市電ヲ中心トスル所ノ交通統制案ト云フニ付テ大臣ノ御意向モ伺ッタノデアリマスカ、民營トナルカ、或ハ公有民營トナルカ、色々種類ガアルノデアリマシテ、其點ニ付テ大臣ノ御意向モ伺ッタノデアリマスルガ、大臣ノ仰シヤル通リ餘程重大ナル問題リマセヌガ、今此陸上交通調整法ガ議ニ上ヅテ只今審議中デアルノデアリマス、此交通調整法ハ昨日モ大臣ニ御尋シタヤウナ次

第デ、東京市ノ交通統制ガ一番主ナルモノデアラウト思フ、一番利害關係ノ多イモノデアラウト思フ、其際ニ於キマシテ吾々ハ之ヲ如何ニ完成セシメルカト云フコトニ苦心ヲ致シテ居ル、是ハ東京市電氣局長ノ言ハレルヤウニ國有鐵道、圓「タク」ト云フモノハ除外シテ、市電ヲ中心トシテ、ソレニ強制的ニ他ノ郊外電車、民營「バス」事業ト云フヤウナモノヲ其圈内ニ集ヌテ、ソレデ統制ノ實ヲ擧ゲヨウト云フヤウナコトハ飛ンデモナイ間違デアル、斯様ナ考ハズット古イ二十年モ前ノ考ヘ方デアリマス、今統制セント思フニハ、昨日モ伺ヒマシタ通り、第一國有鐵道中ノ山手線ヲ加ヘ、圓「タク」モ加ヘ、地下鐵道モ市電モ民營「バス」モ郊外電車モ皆打ッテ一丸ト爲ス所ノ徹底シタ交通統制ヲシナケレバナラヌト私共ハ考ヘテ居ル、是ニ於テ新法案ガ實行サレマシタ後ノ統制事實ハ、或ハ公營トナルカ、官營トナルカ、民營トナルカ、或ハ公有民營トナルカ、色々種類ガアルノデアリマシテ、其點ニ付テ大臣ノ御意向モ伺ッタノデアリマスルガ、大臣ノ仰シヤル通リ餘程重大ナル問題リマセウ、東京市電ガ今ドウ云フ狀態ニアルカ、年々數百万圓宛モ損ヲシテ、市ハ其爲ニ財政ニ於テ非常ナル缺陷ヲ生ジテ居ルコトハ周知ノ事實デアル〔ノー〕私

公共團體ガ經營スルコトガ本質デアルカモ知レスケレドモ、道路ノ管理者トシテハ道路使用料ヲ取ルト云フ方法モアリマスシ、自ラ別ニ色々ナ方法モアルノデアリマスケレドモ、兎ニ角其方法ハ將來何レニ歸著スルカト云フコトハ、調整法ガ出來マシタ後ニ、交通委員會ト云フモノヲ設置ニナリ、衆智ヲ集メテ完全ナル結果ヲ見ルコトニナルノデアリマセウガ、此時此際ニ於キマシテ、苟モ自治體ノ理事者トシテ、交通調整法ニ逆行スルヤウナ案ヲ拵ヘテ、五大都市ニ掛ケテ、五大都市ノ電氣局長ヲ集メテ、新聞デ見マスト鐵道省ノ監督局長モ内務省ノ計畫局長モ御出席ニナッテ、諒解ヲシタトカ求メタトカト云フコトガ書イテアル、實ニ不謹慎極マルコトデアル、殊ニ斯ウ云フコトガアル、平山電氣局長ノ談トシテ交通事業ヲ民間會社ニ統制サレルコトハ市民ニ取テ非常ニ不利益ダ、市ノ獨占事業トナレバ當然利益モ上ルノデ經營ノ點デモ心配ハナイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル何タル、暴言デアリマセウ、東京市電ガ今ドウ云フ狀態ニアルカ、年々數百万圓宛モ損ヲシテ、市ハ其爲ニ財政ニ於テ非常ナル缺陷ヲ生ジテ居ルコトハ周知ノ事實デアル〔ノー〕私

ニ付テモ研究シテ居ル、然ルニ斯ウ云フ不謹慎ノコトヲ致シテ——或ハサウ思ハヌ方ガアルカモ知レマセヌガ、此委員會ヲ壓迫スルガ如キ態度ニ思ヘル、私ハ斯様ナコトハ市ノ當事者トシテ、苟モ電氣局長ガ斯様ナコトヲ爲スペキコトデナイト思フ、監督官廳トシテ、大臣ハ此東京市ノ電氣局長ニ向ッテ、斯様ナ不穩ナル宣傳的行動ヲ執リ、委員ニ對シテ一ツノ壓迫干涉ヲスルヤウナ運動ヲ採ルコトハ甚ダ宜シクナイト思フノデアリマスガ、之ヲ大臣ハ監督官廳トシテ斷然牽制スルヤウナ御意思ハナイノデアリマセウカ

合併セシムルコトガ出来ルノデアリマス、サ  
ウシテ又此出來マスル地下鐵道ヲ東京市ガ  
買收スル場合ニ於テヘ、之ヲ拒ムコトヲ得ズ  
ト云フ規定ガアルノデアリマス、此東京市  
ガ合併ヲ命ジタル場合ニ於テハソレヲ拒ム  
コトヲ得ナイ、東京市ガ買收致サントスル  
場合ニヘ、之ヲ拒ムコトガ出來ナイト云フ東  
京市ト現ニ經營シツ、アル會社トノ間ノ規  
約ヘ、是ガ東京市ノ權利トシテ私共ハ承認  
セラレテ居ルモノト思フノデアリマスルガ、  
本法ノ制定ノ結果ハ之ニ如何ナル影響ヲ及  
ボスカ、本法ガ制定ヲ致サレタ以上ハ、東  
京市ガ立體トシテ交通統制ヲシユト云フ  
ヤウナ其方針デ今日マデ得テ居ル權利ヘ、  
是ガ本法ニ依ツテ消滅スルノデアルカ、即チ  
本法ノ方針ガ斯様ナ方針デナイ、只今御質  
問ニナツクヤウニ變ツテ來ル場合ニ於テヘ、  
左様ナ東京市ノ得テ居ル權利ニ重大ナ影響  
ヲ及ボシ、不可能ニナルデアルガ、私ノ  
今御伺致サナイデ居ツクノハ、詰リニツノ會  
社ガ一緒ニナツテ居ルノヲ分離セシメル權  
利ヲ東京市ガ持ツテ居ルト云フ場合ニヘ、本  
法ノ精神ト相反スルカラ、分離セシメル權  
利ヲ東京市ガ持ツテ居ル場合ニヘ本法ノ掣  
肘ハ受ケル、併シ合併セシメル、統制ニ副  
フ權利ヲ持ツテ居ルノデアルカラシテ、其本

法ノ精神ニ副フ權利ハ東京市ガ影響ヲ受ケ  
ナイト考ヘテ居ツタカラ其點ハ質問ヲ致サ  
ナカッタ、デスケレドモ、精神ニ於テハ分離  
セシメル權利ヲ持ツテ居ツテモ、一緒ニセシメ  
ル權利ヲ持ツテ居ツテモ、買收スル權利ヲ持ツ  
テ居リマシテモ、ソレハ同ジコトデアリマ  
スカラシテ、本法ノ精神ニ副フ權利デアリ  
マスカラ、サウ云フ權利ニハ影響ヲ及ボサ  
ナイ、又本法ノ勸告ニ依ツテ實現シ得ナイ、暫  
大臣ノ仰セニナツタ勸告デ實現シ得ナイ、暫  
ク其時ヲ待ツト云フ場合ニモ東京市ハ自分  
ノ有スル權利ニ依ツテ出來ルダケ何等カノ  
統制ハ爲シ得ルノデアルト云フコトヲ御承  
認ニナルカドウカ、之ヲ關聯シテ御伺致シ  
マス

○鈴木政府委員 先程堺内サンカラ六大大都  
市電氣局長會議ノ時ニ監督局長ハ其處ニ出席シテ、六大都市電氣局長ノ斯ウ云フ公共  
機關ハ市デ經營スペキモノダト云フ意見ニ  
對シテ、同意シタト云フ旨ガ新聞ニアルガ  
ト申サレマシタガ、實ハ私共其會ニ出席シ  
テ居リマセヌ、私ノ方ノ係ノ者ガ出テ居リ  
マスガ、唯其際ニ於テハ法案ノ説明ヲシタ  
程度ニ止マッテ居リマシテ、サウ云フ内容的  
ナコト迄ハ言ツテ居ラナイノデアリマス、此  
點一ツ御諒承置キヲ願ヒタイ

モウ一ツハ深澤委員カラ御質問ニナリマ  
シタ高速度鐵道ト市電トノ間ノ契約ノコト  
デアリマスルガ、是ハ實ハ私高速度鐵道ヲ  
市電ガ買收スルコトハ記憶ガアリマスガ、  
外ノコトハ能ク讀ンデ見マセヌトハツキリ  
分リマセヌガ、本法ニ依ツテ公共團體ノ合併  
ノ命令ハ變デアリマスガ、設立ノ命令ヲシ  
タ場合ニハ、公共團體ガ設立ノ義務ヲ負フ  
ノデゴザイマシテ、設立スル爲ノ諸般ノ私  
法上ノ關係ハ設立ヲ命ゼラレタ者ガ片付ケ  
テ行ク、左様ニ御承知置キヲ願ヒマス

○山田委員 政府ノ命令ニ對シテ、東京市  
ノヤウナ場合ニハ東京市會ノ意思ヲ聽カナ  
ケレバナラヌ、其場合ニ東京市會ノ意思ガ

反対シタ場合デモ政府ノ意向ニ依ッテ之ヲ  
命令スルコトガ出來マスカ、ソレヲ聞キタ  
イ

○勝田政府委員 山田君ノ御質問ニ御答ヲ  
致シマス、此場合ニハ市會ノ決議ハ顧慮致  
サナイコトニ致シタイト思ヒマス、理論的  
ニ御説明申上ゲナクテモ御分リデアリマセ  
ウガ、元來市ノ意思ヲ強制スルノデアリマ  
スカラ、市ノ意思ノ決定ノ源泉ニナリマス  
市會ノ意思モ之ニ依ッテ當然強制サレルモ  
ノデアル、斯様ニ考ヘテ居リマス  
ソレカラ先程堀内君ノ御話ノ點ニ付キマ  
シテ、生憎計畫局長ガ居リマセヌカラ私代ッ  
テ申上ゲマスガ、計畫局長ハ法案ノ説明ヲ  
致シマシテ直チニ歸リマシタノデ、堀内君  
ノ仰シヤツタヤウナコトニ付キマシテ何等參  
畫致シテ居リマセヌ

## ○星島委員長 紅露君

○紅露委員 大體鐵道大臣及ビ内務大臣ニ  
對スル質問ガ終了シマシテ、私が最後ノヤ  
ウデアリマスガ、少シ長クナリマスガ御承  
知ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ本會議デモ  
申シマシタ如ク、又昨日モ申シマシタ如ク、  
本法案ニハ贊成デアリマス、全ク良思ヒ  
付デアリ、又世界ノ大勢カラ見マシテモ、  
日本ノ現狀カラ見マシテモ、是非成立サセ

タイト思ッテ居リマス、又サセルコトガ今日  
ノ國情ニ合スルモノデアル、斯様ニ考ヘテ  
居ルノデアリマス、唯大體論トシテ申上げ  
ルト云フト、此法案ノ缺點ト申シマスカ、弱  
イト云フコトハ、唯現在ノ交通機關、交通事  
業ノミヲ標準ニシテ、將來ノコトヲ眼中ニ  
置イテ居ナイト云フコトガツ、ソレカラ  
又鐵道大臣ノ御説明ヲ伺ヒマシテモ、先づ業  
者ノ保護救濟、隨テ間接ニ一般大眾ガ救ヘレ  
ルノダ、斯ウ云フヤウナ御説明デアリマシテ、私  
ハ寧ロソレハ交通機關ノ本質カラ云ツテ、先づ  
一般大眾ノ方ヲ先ニシナケレバナラヌノデ  
ヤナイカ、斯様ニ思フノデアリマスガ昨日  
淺沼君ナリ永江君カラモ指摘サレテ居タ  
ヤウデアリマスガ、ドウモ其點ガ私ハ缺ケ  
マス、ソレトモウ一つハ此法律ガ折角鐵道  
省ガ二十年モ掛ツテ研究サレタニ拘ラズ、ナ  
ゼモット強イ、所謂統制力ノアル法律ヲ捨  
ヘナカツカ、大體斯ウ云フ三ツノ缺點ガ此  
マス、例ヘバ第二條ノ第一項ノ一號デアリ  
マス、會社ノ合併設立ノ如キモ決シテ現今  
ノ法制デ出來ナイコトハナイト私ハ信ジテ  
居リマス、唯現在ノ商法ナリ民法等ノ解釋  
付デアリ、又第三十條ナリ三十條ノ條文ヲ捨ヘルコトハ

面倒臭イカラマア斯ウ云フコトニシテ置ク  
ノダト云フコトニ私ハ歸著スルノダラウト  
思フ、法制局デモ司法省デモ反対スルトハ  
言フケレドモ、ヤリ方ニ依ッテハ私ハ合併モ  
ス、若シ此脱落フ此儘ニ置クナラバ、此法  
案ダケデ行クナラバ、此法案ハ施行ガ出來  
新設モ出來ヌコトハナイ、斯様ニ考ヘテ居  
リマスガ、是ハ私ノ解釋ガ間違ツテ居リマ  
スカ、ドウデスカ、何レ政府委員ノ方ト檢  
討シテ見タイト思ヒマスガ、大體此法案ニ  
ハ斯ウ云フ三ツノ大キナ缺陷ガアルケレド  
モ、併シ無イヨリハマシデアリマスルカラ  
モハ贊成スルノデアリマスガ、儲チ贊成ス  
ル以上ハ此法案ヲ成ベク完全ナモノニシタ  
イ、斯様ナ譯デ私ハ大臣ニ國策的見地カラ  
先づ二三點質問申上ゲタイト思ヒマス、ソ  
レカラ第一ト致シマシテ、今一寸觸レマシ  
タガ、法文上現在ノ規定ニハ許サレヌカ  
ラ、二條一號ノ如キハ命令事項ニセヌデ、勸  
告ニ止メタノダ、斯様ニ仰セラレルノデア  
リマス、若シサウ云フヤウナ立前デ行クノ  
デアレバ、外ニモヤハリ現在ノ民法、商法、  
法律上ノ點ニ付テ檢討ヲシタイト思ヒマスル  
カラ、第二點以下第四點ハ最後デ結構デゴ  
ザイマスカラ、少シ時間ヲ與ヘテ戴キタイ  
ト思ヒマス、此點ハ質問ヲ留保致シマシテ、  
第一ニ大臣ニ御伺致シタコトハ、將來ノ交  
通事業、所謂交通機關ノ重點ヲ政府ハ何處  
ニ置イテ行クノダラウカト云フコトノ御尋  
デアリマス、是ダケノ劃期的ノ法案ヲ捨ヘ  
ルノデアルカラ、國有鐵道ヲ中心ニシテ行  
クノデアルカ、或ハ地方軌道或ハ地方鐵道

著ガ數點アリマス、是ハ第三點トシテ政府  
委員ト檢討シテ見タイト思ヒマス、ソ  
レカラ第三點ニハ此法律ニハ法文ノ矛盾撞  
ヲ中心ニスルノカ、ソレトモ此法文ノ第一

置クノカ、要スルニ其交通機關ノ中心ヲ何處ニ置クノカ、ドウモ此法案ヲ讀ンデ見マシテモ分ラナイノデアリマス、私ハ何故サウ云フヤウナコトヲ申上ゲマスカト言ヒマスト、今日國有鐵道モ、軌道モ、亦路面電車モ、路面鐵道モ飽和狀態ニ相成ツテ居リマス、私ハ大體此交通統制ニ關スル日本ノ著書モ十數冊讀破シテ見マシタ、又私等ノヤウナ外國語ノ出來ナイ者ガ外國ノ文獻ヲ漁ルノデアリマスルカラ、先ヅ辭書ヲ引キ／＼コツ／＼ヤツタノデアリマスガ、外國モサウ云フヤウナ實情ニナッテ居リマス、一體私ハ何モ此問題ニ付テソンナ興味ヲ持ツタ譯デハナイノデアリマスガ、此星島委員長ト變ナ因縁デ、之ニ類シタ是ト同ジ系統デ是ト同ジ立前ノ法律ニ、私ハ初期當選以來代議士生活七年間ニ四回打突カッテ居ルノデアリマス、辯護士法ノ改正ノ時ニ星島君ガ委員長デ私ガ理事トシテ皆法案ヲ成立セシメテソレカラ其次ニ小運送ノ時ニ星島君モ理事デアリ私モ理事トシテ參加致シマシタ、ソレカラ又百貨店法ノ時ニモ星島君ガ委員長デ、私ガ理事トシテ皆法案ヲ成立セシメテ參ツタノデアリマス、同ジ立前デアリマス、辯護士ト非辯護士トノ抗爭、摩擦ヲ防グ爲

ニ此辯護士法ガ生レテ、サウシテ辯護士ハ三百ヲ退治スレバ宜ノダ、非辯護士ヲ退治スレバ宜イト云フノデ業者ハ絶対賛成シタ、各地ノ辯護士ノ如キハ、私ト小林錦君ガ、或點ニ付テ議會デ争ッテ居ル時ニ、ナゼ貴様等ハ此法案ニ反對スル、各地ノ辯護士ハ斯ノ如ク賛成シテ居ルデハナイカ、業者ハ斯ノ如ク賛成シテ居ルデハナイカ、何故之ヲ通過サセナイカト云フヤウナ議論ガアツタノデアリマスガ、ヤハリ本會議デモ一寸申シマシタヤウニ法案ニ不備ガアリマシテ、私共ノ主張シタ點ニ付テ既ニ本議會ニ慥カ五件カ六件議員提出デハアリマスガ、法案ノ改正案ガ出テ居リマス、百貨店ノ如キモ亦私此百貨店ニ關スル著書モ殆ド日本ニアリマス著書ダケヘ讀破シタ積リデアリマスガ、尙ホ足リマセヌデ、早稻田ノ伊藤教授トカ、帝大ノ教授ニモ私ハ此百貨店ニ付テ、殊ニ「ターミナル・デパート」ニ付テ研究致シマシテ議會ニ臨ンダノデアリマスガ、兎ニ角斯ウ云フヤウニ同ジ立前デ來テ居リマスノデ、此陸上交通事業統制法ニ付キマシテモ各學者ノ著書、ソレカラ大學教授ノ著書、色々交通統制ニ關スル著書モ十數冊讀破シテ見マシタガ、ドウモ餘リ参考ニナルモノハナイノデアリマス、結局私共ガ考ヘマシテ痛切

ニ感ジマスコトハ、交通事業ノ機關ノ中心ヲ何處ニ置クノカト云フコトニ付テ色々研究シマシタ結果、私ハドウシテモ國鐵ハ今年ノ議會ニ於ケル政府委員ノ御説明ヲ伺テ見マシテモ、將來國鐵ハサウドンヽ增收ヲ舉ゲテ行クコトハ不可能ナノデハナイカト云フコトヲ言ツテ居リマス、是ハ現ニ速記錄ニ出テ居リマスガ、サウ云フヤウナ譯譯デ地方鐵道若クハ地方軌道ノ如キハ殆ド六割以上ハ無配當デアリマス、ソレカラ辛ウジテ配當ヲシテ居ルモノモアリマスケレドモ、年々配當率ガ減ヅテ居ルシ、又無配當ニナツテ居リマス、又政府ハ現ニ地方鐵道軌道ニ八年々補助ヲヤラナケレバヤレナイト云フヤウナ情勢ニナツテ居ルノデアリマス、ドウシテモ此國鐵トカ地方鐵道、軌道、路面電車ト云フモノハ將來駄目ダト云フコトハ學者モ實際家モ之ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ私ハソレヲ統計ニ依テ説明シタイト思フノデアリマスガ、是ガ政府ノ御苦心ト云ヒマスカ御所見ヲ伺ヅテ置キタイト思フノデアリマス、一體國有鐵道トカ軌道トカ或ハ地方鐵道トカ云フモノガドウシテ斯ウ云フヤウナ情勢ニナツテ來タカ、殊ニ農村都市ニ於テハ、私共ノ都市デハ路面電車

ヲ持タナカツタコトニ依ツテ救ハレテ居ルトシ又經營困難ニ陥ツタ原因ニハ種々アリマセウ、無論固定資本ニ相當ノ建設費ガ掛ルトカ、維持費ガ掛ルトカ、從業員ノ費用ニレドモ、ドウシテモ主タル原因ハ自動車ノ進出グラウト思フノデアリマス、何故カト申シマスト私ガ申上ゲル迄モナク東京ハ大正八年ニ初メテ乗合自動車ガ設ケラレテ居リマス、大阪ハ十三年デアリマスガ、其大正八年ノ東京乗合自動車ノ統計ヲ見マスト、僅ニ四千四百万人位シカナカツタモノガ一躍シテ九箇年ノ間ニ二億三千万人ト云フ六倍強ノ増加ヲ示シテ居リマス、大阪ハ最初ニ捨へマシタ大正十三年ニ一千百万人デアッタノガ、ソレガ九箇年間ニ十三倍強トナリマシテ、一億五千百万人ト云フ大増加ヲ示シテ居ルノデアリマス、色々統計ヲ調べマシタリ本モ調ベマシタケレドモ、日本全國デ一體ソシナラ乗合自動車ガドノ位ノオ客ヲ運ンデ居ルカト云フコトガ今統計ガナイヤウデアリマス、併シ大體最近ノ昭和九年ニ於ケル日本ノ六大都市ニ於テ乗合自動車ノ運搬人員ガ三億七千万人トナツテ居リマスカラ、マア學者トカ實際家ノ說カラ推算致

シテ見マスト、大體一年ノ中ニ五億人位運  
ンデ居ルノヂヤナイカ、サウスルト昭和九  
年ニ鐵道省ガ四十二億ノ投資ヲシテ、二十  
万人内外ノ人ヲ使ッテ、サウンデ運ンデ居  
人間ハドレ位カト云フト、僅ニ九億一千万  
人シカ運ンデ居ナイ、サウ致シマスト、之  
ニ比較致シマシテモ殆ド遜色ノナイノミナ  
ラズ、モウ少シシテ居レバ、或ハ國鐵ノ一  
年間ノ輸送人員ヲ凌駕スルコトニナルノヂ  
ヤナイカト云フコトハ、是ハ學者モ實際家  
モ皆認メテ居ルノデアリマス、投資ノ上カ  
ラ言ツテ四十億内外——一ツノ省ヲ設ケテ  
サウシテ二十万人ノ從業員ヲ使ッテ居ル國有  
鐵道トシテ、是ダケノ努力ヲシテ居ルノニ、  
ソレヲ凌駕セントスルヤウナ自動車ノ進出  
ガアルノデアリマス、而モ大正八年ナリ、  
十三年ニ乗合自動車ガ出來タ時分ニ、國有  
鐵道ナリ、地方鐵道、軌道ト云フモノハ、  
全盛時代デアリマシタカラ、彼等ニ何ガ出  
來ル、彼等恐ル、ニ足ラズト言ツテ居ツタノ  
デアリマスガ、遂ニ斯ウ云フ情勢ニ相成ッテ  
來タノデアリマス、而モ又私共ノ實際ニ徵シ  
マシテモ、現ニ「トラック」ノ如キハモウ名古  
屋邊マデ荷物ノ運搬ヲ致シテ居リマス、又  
若松、仙臺邊リニモドン／＼今「トラック」

國鐵ノ如キハ長距離デアルトカ、大量輸送  
ヲヤルコトニ依ツテノミ、私ハ此黒字ト云フ  
モノヲ保ツテ行カレテ居ルノデハナイカト  
云フヤウナ感ジヲ持ツノデアリマス、斯ウ  
路面電車、現在ノモノヲ標準ニシテコンナ  
統制法ヲ二十年モ掛ツテ御持ヘニナッテ、サ  
ウシテ劃期的ナスウ云フヤウナ立案ヲ爲サ  
レルト云フコトデハ、ドウモ私ハ腑ニ落チ  
ナイノデアリマス、一體此點ニ對シテ鐵道  
大臣ナリ、内務大臣ハドウ云フ御考ヲ以テ  
將來行ク御考カ、其對策及ビ御所見ヲ伺ッテ  
置キタインデアリマス

テ、今日ト致シマシテハ、先ヅ大體遠距離  
モレヌ、或ハ自動車ノ方ガ自然ト打勝ツ  
テ、自動車ニ替ハルノデハナイカト云フコ  
トヲ考ヘル程度デアリマス、併ナガラ日本  
ノ地勢ト云フモノハ細長クナッテ居ッテ、北  
側ト南側トハ非常ニ違フノデアリマスカラ、  
日本海ニ面スル北陸或ハ東北地方ハ、假令  
自動車ハ便利デアッテモ、冬ハ雪ノ爲ニ使ヘ  
ナイ、隨テ假令自動車ハ便利デモ、ヤハリ  
汽車ニ依ラナケレバ、完全ニ交通ノ目的ヲ  
達シ得ラレナイト云フヤウナ事情モアルノ  
デアリマスカラ、一概ニ申上ゲラレマセヌ  
ガ、先ヅ大體今日ニ於テハ、ドチラヲ中心  
ニ置クベキカト云フコトハ、豫メ豫測シ得  
ナイ程度ノモノダラウト思ヒマス、此交通  
調整法ハ將來ノ交通機關ノ中心ガ何レニ在  
ルニ拘ラズ、現在ノ不合理、不經濟等ヲ除  
去シテ、先ヅ現在此調整法ニ依ッテ經營者及  
ビ一般人民ニ便益ヲ與ヘルト云フノガ目的  
デアリマスルカラ、交通機關ノ中心ガ何處  
ニ變ラウト、ヤハリ是ハ必要ナ事デアラウ  
ト考ヘテ居ルノデアリマス、此程度ヲ御答  
致シマス

是非トモ一ツ御考慮ヲ願ツテ置カナケレバ  
ナラスト思フノデアリマスガ、鐵道省ノ御  
話ヲ伺ヒマスト、此交通統制トカ小運送法  
ナント云フモノハ二十年モ三十年モ掛ッテ  
鐵道省ハ御研究ニナッタ、斯ウ云フヤウニ  
言ハレルノデアリマス、所ガ私ハ其御研究  
ハ多トシマス、又色々御研究下サッタコト  
ハ非常ナ價値アルコト思フノデアリマスガ、  
又半面カラ考ヘマスト、一體サウ云フヤウ  
ヨリハ、寧ロ内務省ヤ鐵道省ガ飛ンデモナ  
イコトヲシテ居ルカラ、コンナ交通調整法  
ト云フヤウナ法律ヲ出サナケレバナラヌヤ  
ウニナツクノデハナイカ、ソレハ何故カト申  
シマスト、一體地方鐵道ニシマシテモ、軌  
道ニシマシテモ、乗合自動車ニシマシテモ、  
兎ニ角是ハ免許營業デゴザイマスカラ、内  
務省ナリ鐵道省ノ許可ガナケレバ、ソンナ  
事ハ出來ナイ筈デアリマス、デアルカラ一  
方ニ於テ二十年モ掛ッテ統制シナケレバナ  
ラヌト云ツテ研究シナガラ、一方ニ於テ困ル  
程路線ヲ許可スル、甚シイノニナリマスト、  
一つノ良イ軌道ニ對シテ唯權利ダケ取ツテ、  
俺ノ方ヲ買收シテ呉レ、買收シテ呉レナケレ  
バ建議スルゾト云フヤウナコトヲ強迫シ

テ買收サセルト云フヤウナモノ迄出テ來タ  
ト云フヤウニ私共聞クノデアリマス、サ  
ウ云フコトカラ考ヘマスト、一體此交通  
調整ヲ必要トル所ノ根本原因ハ、内務省  
及ビ鐵道省ガ作ツタノデハナイカト言ッテ  
モ、決シテ獨斷デナイ、斯様ニ考ヘルノデ  
アリマス、デアルガ、マア～併シ済ンダ  
コトハ仕方アリマセヌ、或ハ政黨横暴時代  
ニサウ云フコトヲヤツタリシタカラ色々聞  
キマスガ、是ハ私共政黨員トシテ大イニ考  
ヘナケレバナラヌコトデ、私共ハ法案ノ審  
議デモ或ハ事業デモ、兎ニ角一切ノモノガ  
私心ヲ去ッテ、本當ニ經營者、企業者ハ私心  
ヲ去リ、代議士モ私心ヲ去リ、又政府モ私心  
ヲ去ッテ、眞劍ニ事ニ當レバ、何事モ解決ガ  
付イテ行クモノデアルト、私ハ常ニサウ考  
ヘテ居ルノデアリマス、私ハオ役所ナンカ  
ニ對シテモ、現ニ其處ニ大臣以下居ラレマ  
スガ、鐵道省ニ對シテ未ダ曾テ私ノ事ニ付テ  
ハーツモ賴シダコトハアリマセヌ、唯去年  
私ノ縣ノ中學ヲ一番デ出、高等工業ヲ一番  
デ出タ者ヲ政務次官ニ始メテ、斯ウ云フ者  
ハ國家ノ爲ニ官吏トシテ採用シテモ宜イデ  
ハナイカ、一ツ採用シテ吳レト云フコトヲ、  
七年間ニ唯一遍頗ミマシタガ、本當ニ是ハ  
私心ヲ去ッテヤツテ居ツタナラバ、一體コンナ

交通調整法ナント云フモノハ必要トシナカッ  
タノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、  
併シ過ギタコトハ仕方アリマセヌガ、兎ニ  
角今此法文ヲ見マスルトコンナコトガ出テ  
居ルノデアリマス、一方交通調整シナガラ、  
二十年モノ間ドン～許シテ來テ居ル、運  
動員或ハ代議士モ賴ミニ行ツタデセウ、或ル  
方面カラ運動モシタデセウガ、マダ御許ニ  
ナルト云フヤウニ私ハ思フノデアリマス、  
五條ニコンナコトガアルノデアリマス「第  
二條第一項ノ規定ニ依リ決定シタル調整ノ  
區域内ニ於ケル陸上交通事業經營ノ免許又  
ハ特許ニシテ重要ナルモノハ主務大臣交通  
事業調整委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ爲スベシ」  
ト云フノデアリマシテ、此五條デ調整シ  
ナケレバナラヌ程飽和狀態ト言ヒマスカ、  
滅茶苦茶ニナッテ居ルノニ、マダ其上ニ許ス  
ノカ知ラント云フヤウナ少クトモ私共疑念  
ヲ持ツノデアリマス、コンナ調整法ヲ拵ヘ  
ナケレバナラヌヤウナ根本原因ヲ内務省ト  
鐵道省デ一體作ツテ置キナガラ、斯ウ云フ處  
ニ五條ガ出來テ居ルト云フト、マダ此上ニ  
御許シニナルカモ知レヌ、ソレデハ一體何  
ノ爲ニ調整法ヲ拵ヘタノカ知ラント云フコ  
トヲ考ヘルノデアリマス、唯茲ニ調整ノ區  
域内ト書イテアリマスカラ、調整シタ區域

内デハ今マデ多過ギテ困ツタカラ調整シタ  
ノダカラ、區域内デ又許ス場合ニハ、此交  
通事業調整委員會ノ議ニ掛ケテ決定ヲ經テ  
居ルノデアリマス、一方交通調整シナガラ、  
二十年モノ間ドン～許シテ來テ居ル、運  
動員或ハ代議士モ賴ミニ行ツタデセウ、或ル  
方面カラ運動モシタデセウガ、マダ御許ニ  
ナルト云フヤウニ私ハ思フノデアリマス、  
五條ニコンナコトガアルノデアリマス「第  
二條第一項ノ規定ニ依リ決定シタル調整ノ  
區域内ニ於ケル陸上交通事業經營ノ免許又  
ハ特許ニシテ重要ナルモノハ主務大臣交通  
事業調整委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ爲スベシ」  
ト云フノデアリマシテ、此五條デ調整シ  
ナケレバナラヌ程飽和狀態ト言ヒマスカ、  
滅茶苦茶ニナッテ居ルノニ、マダ其上ニ許ス  
ノカ知ラント云フヤウナ少クトモ私共疑念  
ヲ持ツノデアリマス、コンナ調整法ヲ拵ヘ  
ナケレバナラヌヤウナ根本原因ヲ内務省ト  
鐵道省デ一體作ツテ置キナガラ、斯ウ云フ處  
ニ五條ガ出來テ居ルト云フト、マダ此上ニ  
御許シニナルカモ知レヌ、ソレデハ一體何  
ノ爲ニ調整法ヲ拵ヘタノカ知ラント云フコ  
トヲ考ヘルノデアリマス、唯茲ニ調整ノ區  
域内ト書イテアリマスカラ、調整シタ區域

内デハ今マデ多過ギテ困ツタカラ調整シタ  
ノダカラ、區域内デ又許ス場合ニハ、此交  
通事業調整委員會ノ議ニ掛ケテ決定ヲ經テ  
居ルノデアリマス、一方交通調整シナガラ、  
二十年間鐵道省ガ繰返シテ來タコトヲ、吾  
吾一般大衆ハ嘗メナケレバナラヌト云フヤ  
ウナ結果ニナルノデアリマス、此五條ヲ御  
設ケニナツタ理由、區域内ト書イタ理由、區  
域外ニハ又今迄ノヤウニ許スノカ、又區域  
外ト雖モ斯ウシテ調整法ヲ以テ調整シナケ  
レバナラヌ程今日ノ我國ノ交通事業界ハ混  
亂シ錯雜シテ居ルノニ、何故茲ニ區域内ト  
書イタカ、是ハ國策上私ハドウシテモ伺ツテ  
置カナケレバナラヌト思フノデアリマス  
ガ、是ハ鐵道大臣及ビ内務大臣兩方ニ監督  
權ガアルノデスカラ、ハッキリシタ御答辯ヲ  
願ヒタイノデアリマス  
○中島國務大臣 五條ノ區域内ニ許スヤウ  
ナ場合ガアルカモ知レヌト云フコトハ細  
細シイ事情ガ此後モアルヤウデアリマスカ  
ラ、政府委員カラ御説明致サセマス  
ト書イテアル、區域外デヤルノダ、何ガ  
内ト書イテアル、惡イカト云フ亂暴ナ大臣ガ出テ來ナイトモ  
限ラナイ、現ニ私鐵ヲ買收スル時ニ、鐵  
道會議ニ掛ケヌデ私鐵ヲ買收シタヤウナ大  
臣モアルノデアリマス、是ハ貴族院デモ大  
シテ、今マデソレ程佳宅其他ガナカツタノガ  
非常ニ密度ガ殖エタ、其爲ニ高速ノ地下鐵道  
或ハ其他ノ交通機關ヲ敷設スル必要ガアル  
場合ニ、其調整區域内ニ於テモ其免許ヲシ  
ナケレバナラヌ、又其調整區域内ニ於キマ

スル所ノ道路ガ改修セラレマシタリ、今マ  
デ狭イ道路デ自動車モ通レナカッタ道路ガ  
擴張セラレテ良イ道路ニナリ、今マデサウ  
交通量ノナカッタ所ノ其道路ガ非常ニ交  
通量ガ増シテ來ル、斯ウ云フ場合ニ自動車ノ  
路線ノ免許ヲ、此交通機關ガ出來タ場合ニ  
シナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニ於キマ  
シテ一應調整ガ出來タ處デアリマスカラ、  
今マデ出來テ居ル所ノ交通機關ニ重大ナ影  
響ヲ及ボス場合ニ於テ、此交通調整委員會  
ノ議ニ掛ケテ決メタラ宜イダラウ、斯ウ云  
フコトデ第五條ヲ立案シタ次第デアリマス、  
ソレカラ調整區域外ニ於キマシテハ、是ハ  
從來ノ自動車デアレバ鐵道大臣ガ内務大臣  
ト協議ヲシテ認可スルコトニナリマス、地  
方鐵道ナラバ鐵道大臣、軌道デアレバ兩省  
大臣ニ免許許可ヲ受ケナケレバナラヌコト  
ニナシテ居リマス、サウ云フ區域外ニ於キマ  
シテモ從來ノ監督行政ノ立場ニアリマシテ、  
免許或ヘ特許ヲスルノデアリマス、區域外  
ニ於キマスル鐵道軌道或ヘ自動車ガ既ニ飽  
和狀態ニ達シテ新ニ必要ガナイト云フコト  
ハ、或ヘ新道路ノ開設或ヘ地方狀況ノ變化  
ニ伴ヒマシテ一概ニ申上ゲ兼ネルト私ハ考  
ヘテ居リマス

○紅露委員 政府委員ノ御答辯ハ私ハ承服

スルコトガ出來マセヌ、何故カト申シマス  
ルト、區域内ニ於テ調整ヲスル必要ガアツテ  
シタ所ガ新シク道路ガ出來タトカ、新シク  
交通路ガ設ケラレタト云フ時ニ、免許特許  
ウナ新シイ道路ガ設ケラレルトカ、新シイ  
軌道ガ設ケラレテ輸送量ガアルト云フナラ  
バ、サウ云フ所ハ調整スル必要ガナイ、調  
整スル必要ガアル所ハ、ソンナ現在ノモノ  
ダケデナク、將來此處へ道路ガ出來ルカモ  
知レヌ、是ダケノ地勢カラ言ツテ將來此處へ  
軌道ガ出來ルカモ知レヌゾ、ト云フヤウナ  
コトガ考ヘラレル時ニハ、ソレハ調整區域  
内ニ入ルベキモノデハアリマセヌ、理論上  
ソレハ調整ノ必要ナキ區域デアリマス、ア  
ナタノ今ノ御答辯ハ違ツテ居リマス、假ニ競  
争シテ居ツテ尙且利益ガ擧ガルトスレバ、ソ  
レハ競爭デヤナイ、競爭シテ居ルヤウニ見  
エルケレドモ、ソレハ競爭ニアラズシテ、  
兩方トモ存在價值ガアル路線デアリマス、ソ  
レハ競爭シテ居ツテモ構ヒマセス、許シテ置イ  
テ宜イ、ソレトアナタノ議論ハチットモ變リハ  
アリマセヌ、調整區域内ニ於テ調整ヲシタケ  
レドモ、マダ道路モ拵ヘナケレバナラヌ、軌  
道モ拵ヘナケレバナラヌト云フナラバ、ソレ  
考ヘルト仰シヤルナラバ分リマスケレドモ、  
ハ政府ハ眼ノ前バカリヲ見テ、大局ヲ見ズ

シテ調整ヲ命ズルノデアツテハ、サウ云フヤ  
ウナ考デ政府單獨ニ大臣ガ裁定ヲ爲サルト  
シタ所ガ新シク道路ガ出來タノデ、ソレヲ今マデ  
云フテモ、大臣ハコンナコトニ眼ヲ通セヌ  
カラ、何レ事務當局ガ爲サルノデセウガ、  
ソンナ偏見ナ、ソンナ眼前ノコトノミヲ考  
ヘテ調整スルナラバ、調整ノ必要アリヤ否  
ヤヲ認定シテ、而シテ尙且委員會ニ掛ケル  
ノニ、政府ガソンナ皮相ナル見解デアルナ  
ラバ私共ハ反對セザルヲ得ナイ、ソレハ調  
整ノ必要ノアル所デハアリマセヌ、若シサ  
ウダトスレバ立法ノ趣旨ガ間違ツテ居ルト  
思ヒマス、尙ホ區域外ニ於テ——私ハ決シ  
テ政府ヲ責メルノデハアリマセヌ、此法案  
ガ完全ナラシムルガ爲ニ主張スルノデアリ  
マスガ、區域外ニ於テハ地方鐵道法、軌道  
法モ生キテ居ルノデアリマスカラ、今ノ政  
府委員ノ仰シヤル如ク

〔委員長退席、佐藤委員長代理著席〕

從來ノ免許、特許、認可ノ方法デ行ク、從  
來サウ云フ免許、認可デ許シテ來テ居ツタカ  
ラコソニナッタ、區域外ニ於テハ從來  
ノ地方鐵道法モ、軌道法モ、自動車取締法  
モ生キテ居ル、ケレドモ斯ウ云フ法律ガ生  
キテ居ルカラ、又取締ヲスル、將來大イニ  
フヤウナ希望ガ起ツテ來タ場合ニ、本來ナラ  
ニハ無カッタ地下鐵ヲ更ニ敷設シタイト云  
フヤウナ希望ガ起ツテ來タ場合ニ、本來ナラ

今マデ特許、免許ヲヤツテ來タカラ、コンナ  
ニ錯雜シ混亂シテ來タノデ、ソレヲ今マデ

通リヤルナラバコンナ法律ハ要ラナイ、私  
モウ一遍ハッキリシタコトヲ御答願ヒマス

○田尻政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ先  
程監督局長カラ答辯ガアリマシテ、第五條

モウシテモ今ノ答辯デハ承服出來マセヌ、  
ハドウシテモ今ノ答辯デハ承服出來マセヌ、  
モウ一遍ハッキリシタコトヲ御答願ヒマス

シテ調整ヲ命ズルノデアツテハ、サウ云フヤ  
ウナ考デ政府單獨ニ大臣ガ裁定ヲ爲サルト  
シタ所ガ新シク道路ガ出來タノデ、ソレヲ今マデ  
云フテモ、大臣ハコンナコトニ眼ヲ通セヌ  
カラ、何レ事務當局ガ爲サルノデセウガ、  
ソンナ偏見ナ、ソンナ眼前ノコトノミヲ考  
ヘテ調整スルナラバ、調整ノ必要アリヤ否  
ヤヲ認定シテ、而シテ尙且委員會ニ掛ケル  
ノニ、政府ガソンナ皮相ナル見解デアルナ  
ラバ私共ハ反對セザルヲ得ナイ、ソレハ調  
整ノ必要ノアル所デハアリマセヌ、若シサ  
ウダトスレバ立法ノ趣旨ガ間違ツテ居ルト  
思ヒマス、尙ホ區域外ニ於テ——私ハ決シ  
テ政府ヲ責メルノデハアリマセヌ、此法案  
ガ完全ナラシムルガ爲ニ主張スルノデアリ  
マスガ、區域外ニ於テハ地方鐵道法、軌道  
法モ生キテ居ルノデアリマスカラ、今ノ政  
府委員ノ仰シヤル如ク

シテ調整法ノ適用ヲヤリマス場合ニハ、或  
カラ補足的ニ御答致シタイト思ヒマス、大  
體此調整法ノ適用ヲヤリマス場合ニハ、或

紅露君カラ重ネテ御質問デアリマスガ、私  
カラ補足的ニ御答致シタイト思ヒマス、大  
體此調整法ノ適用ヲヤリマス場合ニハ、或

シテ調整法ノ適用ヲヤリマス場合ニハ、或  
カラ補足的ニ御答致シタイト思ヒマス、大  
體此調整法ノ適用ヲヤリマス場合ニハ、或

バ是ハ鐵道大臣ナリ、或ハ内務大臣、或ハ  
鐵道大臣ト内務大臣デ從來ノ地方鐵道法、  
或ハ軌道法ニ依ツテ單獨デ免許又ハ特許シテ  
モ差支ナイケレドモ、一旦調整區域トシテ  
事業調整委員會ノ意見ヲ徵シテ、之ヲ免許  
等ノ關係ヲ慎重ニ考慮スル意味ニ於テ交通  
調整ヲシタ關係モアリマスカラ、特ニソレ  
スルナリ、特許スルナリ、或ハシナイナリ  
ト云フヤウナコトニシヨウト云フ意味デア  
リマス、ソレカラ此法案ハ大體全國的ニ適  
用ガアル譯デアリマスケレドモ、此發動ス  
ル地域ハ特ニ主務大臣ガ調整委員會ノ意見  
ヲ徵シテ、サウシテ決定スル譯デアリマス  
浦々、全般的デハナイノデアリマス、先  
程モ御答シマシタヤウニ、先ヅ以テ豫想サ  
レルノハ六大都市ト云フヤウナ所デアッテ、  
全國的ニハマダ今後交通機關ヲ、鐵道デモ、  
ハ國運ノ進展ニ伴フ當然ノコトト思フノデ  
アリマス、ソレデ是ハ先程御述ベニナリマ  
シタヤウニ、從來是ハ免許營業デアルカラ、  
ガ斯ウ云フ風ナ調整ヲ今ニナツテ行ハナケ

レバナラヌヤウナ事情ニシタノハ不都合ヂ  
ヤナイカト云フヤウナコトモアリマシテ、  
サウ云フコトガ全ク私ハ當ラナイトハ考ヘ  
マセヌケレドモ、今後全國的ニ交通機關ノ  
發達ヲ助長シテ行ク上ニ於テ、此調整ノ趣  
旨ヲ酌ンデ、再び調整法ノ發動ヲ今後全國  
的ニ瓦ツテシナケレバナラヌヤウナコトニ  
ナラナイヤウニ十分注意ハ致シマスルケレ  
ドモ、調整區域内ニ對シテハモウ一切交通  
機關、地方鐵道モ軌道モ、「バス」モヤルナ  
ト云フヤウナ極端ナコトハ私ハ出來得ナイ  
ト思フノデアリマス、サウ云フ趣旨デアリ  
マス

要スルニ今政務次官ノ仰セラレタ如ク、區域内ニ於ケル將來ノ對策ト申シマスカ、域外ダカラ絕對ニ免許シナイト云フ譯ニハ行カヌガ、將來又其方面マデモ此調整法ヲ發動シテ行カナケレバナラヌヤウナ亂雜ナ無統制ナ許可ハセヌ、考慮スルト云フヤウナ意味ニ私ハ受取タノデアリマスガ、ソレヲ對策ト申シマスカ、御所見ト申シマスカ、サウ云フヤウナ意味ノコトヲ伺ツテ置ケバ宜シイノデアリマス

○勝田政府委員 内務省ト致シマシテモ大體鐵道大臣竝ニ鐵道省關係ノ政府委員ノ御述ニナツタノト同ジ考ヲ持ッテ居リマス、區域外ニ於キマシテヘ、日本ノ國運ノ進展ニ伴ヒマシテ尙ホ交通機關ノ整備竝ニ完備ヲ要スルモノガ多々アルト思ヒマス、尤モ從來通リト云ヘバ甚ダ亂雜デハナイカト云フコトデゴザイマスレバ、從來ノ規則ニ依リマシテ、無論慎重ニヤラナケレバナラヌコトト存ジマスガ、許ス時ハ許ス、必要ナコトハドシ／＼ヤツテ行カナケレバナラヌ、斯様ニ區域外ニ於テハ思ツテ居ルノデアリマス、區域内ニ付キマシテモ大體鐵道當局ノ説明ノ通り考ヘテ居リマス

○紅露委員 ソレデハモウ一一點伺ヒマシテ大臣ニ對スル質問ハ終リマス、其次ハ此

法案ノ重點デアリマシテ、各委員カラ昨日  
來縷々御質問ニモナルシ、又大臣モ御説明  
ニナツタヤウデアリマスガ、此委員會ノ構成  
或ハ委員ノ法律上ノ性質ト云フヤウナコト  
ニ付テハ、是ハ何レ勅令ニ讓ルヤウニナツテ  
居リマシテ、勅令ノ内容ハ私ノ黨派カラ資  
料トシテ請求シテアリマスカラ、資料ガ出  
マシテ又御伺スルコトト致シマシテ、極ク  
大局カラ一ツ伺ヒタインハ、此委員會ニ掛  
ケルカ掛ケナイカト云フコトハ主務大臣ガ  
御決定ニナルノデアリマスガ、委員會デ事  
項ヲ御決メニナル、其委員會デ御決メニナ  
ル決議ノ方法トカ、或ハ斯ウ云フコトヲ決  
メルノダトカ云フ詳シイコトハ政府委員カ  
ラ伺ヒマスガ、此委員會ニ付テ昨日來私默ツ  
院議員トカ、或ハ業者——尤モ其統制ノ直  
接ノ當事者タル業者ハ入レスケレドモ——  
業者モ入レル、地方ノ人達モ臨時的ニ入  
レル、洵ニ宜イト思フノデアリマスガ、  
私ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、此交通統  
制ト云フモノハ公共的ナ性質ヲ持テ居ル  
ノデアル、ソレハ無論幾多ノ改正スペキ點、  
統制スペキ點ハアラウケレドモ、何トシテ

モ是ハ公共的性質ヲ有シテ居ルノデアルカ  
ラ、先ヅ一般大衆ノ便不便ヲ圖ッテヤルノ  
ダ、斯ウ云フコトヲ主眼ニ置カナケレバナ  
ラスト思フノデアリマス、ソレダノニ永江  
君ナリ、淺沼君カラモ御質問ガアツタヤウ  
デアリマスガ、要領ヲ得テ居ナイヤウデア  
リマス、委員ニ一般大衆——ソレハ衆議院  
議員ガ入ッテ居ルト云ヘバ別デアリマスガ、  
利用者ノ側ノ者ガ入ラヌ、例ヘバ京王電車  
デアレバ、其京王電車ノ沿線ニ於ケル所ノ  
利用者ノ代表トカ云フヤウナ者ヲ入レテ行  
クト云フコトハ私ハ非常ニ宜イコトダト思  
フノデアリマスガ、ドウモ一般大衆ノ代表  
者ガ入ラスト云フコトハ兎モ角缺點ダト思  
フ、殊ニ交通機關ノ公共的性質ヲ有スル點  
カラ言ッテモソレガ當然ダラウト思フノデ  
アリマスガ、ソレヲ御入レニナラナイノカ、  
御入レニナラナケレバナラナイデモ宜イノ  
デアリマスガ、其理由サヘ承服ガ出來レバ  
私ハ宜イノデアリマス、ソレヲ一ツハッキ  
リ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○中島國務大臣 一般大衆ヲ代表スル者ヲ  
此委員會ニ入レルト云フコトハ最モ重要ナ  
ルコトデアルト考ヘルノデアリマス、隨テ  
衆議院議員ガ構成ノ主ナルモノヲ成スト云  
ガ、一度此調整法ニ基イテ發スル所ノ命令  
フコトハ、ヤハリ衆議院議員ハ國民ヲ代表  
シテ居ル者デアルト云フ見地ニ多ク立ッテ  
居ルノデアリマス、尙ホ地方ノ人ガ臨時ニ  
委員トシテ入ルト云フコトハ、唯地方ノ事業  
者バカリデナク、ヤハリ地方ノ人ヲ入レル  
ノデアツテ、其中ニハ勿論事業者側デナク、  
利用者側ノ代表者モ含マレテ來ルト思ヒマ  
ス

○紅露委員 ハッキリシタ御答辯デ感謝致  
シマス、是ハ政府委員ニ伺ッタ方ガ宜イノ  
カモ知レマセヌガ、法文ノ矛盾撞著ニ付テ、  
政府委員ニ伺ッテ置カウト思ッタノデスガ、  
餘リ重大デアリマスカラ、大臣ニ伺ッテ置イ  
タ方ガ宜イト思フ、或ヘ私ノ解釋ガ間違ッテ  
ガ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、第十二  
條ニハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令又  
ハ處分ニ違反シタラ、取締役其他ノ役員ヲ  
解任スルコトモ出來レバ、事業ノ全部又ハ  
一部ノ停止モ出來ル、甚シイノハ免許又ハ  
特許ノ全部又ハ一部ノ取消ガ出來ル、ドン  
ナ小サイ地方鐵道デモ軌道デモ何百万圓、  
或ハ大キイノハ何千万圓以上投ジテ居ルノ  
モアリマセウ、或ハ乗合自動車ニシテモ何百  
万圓カ投ジテ居ルモノガアル、斯ウ云フヤ  
小運送ニ付テ見マシテモ、小運送ナド手車  
一ツ持ッテ居ルモノ、自動車一ツ持ッテ居ル  
モノノ免許ヲ取消シ、或ハ與ヘルコトモ、  
モノノ免許ヲ取消シ、或ハ與ヘルコトモ、  
レバナラヌト云フコトニナツテ居ルノニ、ド  
ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、尙ホ

シテ居ル者デアルト云フ見地ニ多ク立ッテ  
居ルノデアリマス、尙ホ地方ノ人ガ臨時ニ  
委員トシテ入ルト云フコトハ、唯地方ノ事業  
者バカリデナク、ヤハリ地方ノ人ヲ入レル  
ノデアツテ、其中ニハ勿論事業者側デナク、  
利用者側ノ代表者モ含マレテ來ルト思ヒマ  
ス

○紅露委員 ハッキリシタ御答辯デ感謝致  
シマス、是ハ政府委員ニ伺ッタ方ガ宜イノ  
カモ知レマセヌガ、法文ノ矛盾撞著ニ付テ、  
政府委員ニ伺ッテ置カウト思ッタノデスガ、  
餘リ重大デアリマスカラ、大臣ニ伺ッテ置イ  
タ方ガ宜イト思フ、或ヘ私ノ解釋ガ間違ッテ  
ガ、斯ウ云フコトニナツテ居ラウガ、市ガヤツテ居ラ  
ウガ、個人ガヤツテ居ラウガ、又會社ガヤツ  
テ居ラウガ、一寸シタ用品ノ共同購入ヲヤ  
ハ數千万圓、數百万圓ヲ授ジテ、サウシテ  
公共團體ガヤツテ居ラウガ、市ガヤツテ居ラ  
ウガ、個人ガヤツテ居ラウガ、又會社ガヤツ  
テ居ラウガ、一部取消スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居  
レ、共同修繕ラヤレト云フ命令ガ出テ、ソ  
レニ違反ラシタラ立ドコロニ其免許マデ全  
部取消スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居  
ルト云フコトハ重大問題デアラウト思フ、  
假ニ私共昨年參加致シマシタ同ジ鐵道省ノ  
小運送ニ付テ見マシテモ、小運送ナド手車  
一ツ持ッテ居ルモノ、自動車一ツ持ッテ居ル  
風ニ見エルノデスガ、御所見ヲ伺ヒタイ  
○中島國務大臣 此罰則ハ今マデ地方鐵道  
法トカ、軌道法、或ハ自動車運輸事業法等  
ノ現在アル法律ニ規定セラレテ居ルコトヲ  
此處ニ列記シタモノデアリマシテ、別ニ是  
ガ新シイ罰則デモナク、現在施行シテ居ル  
モノデアリマスカラ、是ガ非常ニ無理ヲ感  
ズルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、尙ホ

若クハ處分ニ違反シタラ、大臣單獨デ斯ウ  
云フ嚴罰ニ處セラレルノダト云フコトニ  
ナツテ居リマス、二條ヲ見マスルト、主務大  
臣ハ交通事業調整委員會ノ意見ヲ徵シテ是  
レ是レノコトヲヤレト言フ、是程委員會ヲ重  
要視シテ居ル、委員會ニ掛ケルコトトシテ  
用品其他ノ共同購入、共同修繕、或ハ連絡  
運輸、直通運輸ラヤルト云フヤウナ屁見タ  
イナコトマデモ、委員會ニ掛ケナケレバ大  
臣ハ勸告サヘモ出來ヌ、命令サヘモ出來ヌ  
ト云フコトニナツテ居ルノニ、此第十二條ニ  
間延バスノニモ、百貨店委員會ニ掛ケナケ  
レバナラヌト云フコトニナツテ居ル、此二  
條ト十二條トノ矛盾ハ同ジ鐵道省ノ小運送  
法、或ハ同ジ立前ノ百貨店法ト法律ヲ舉ゲ  
レバ色々アリマセウガ、ドウシテコンナヤ  
ウナ罰則ヲ御決メニナツタノカ、又斯ウ云フ  
コトヲヤルノナラバナゼ調整委員會ニ掛ケ  
ナイノカ、小運送法ナドハ違反ガアツテモ現  
ニヤツテ居ル、是ハ大臣カラデナクテモ結構  
デアリマス、私ノ解釋ガ違ッテ居レバ御叱リ  
ヲ受ケレバ宜イノデスガ、私ニハサウ云フ  
風ニ見エルノデスガ、御所見ヲ伺ヒタイ  
○中島國務大臣 此罰則ハ今マデ地方鐵道  
法トカ、軌道法、或ハ自動車運輸事業法等  
ノ現在アル法律ニ規定セラレテ居ルコトヲ  
此處ニ列記シタモノデアリマシテ、別ニ是  
ガ新シイ罰則デモナク、現在施行シテ居ル  
モノデアリマスカラ、是ガ非常ニ無理ヲ感  
ズルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、尙ホ

ヤウニ十二條ハサレタノデスカ、又昨年成  
立シマシタ百貨店法ナドハヤハリ是ト同ジ  
立前ノ法律デアリマスガ、御承知ノ如ク百  
貨店業者ト小賣業者ノ摩擦ヲ防グ爲ニ出来  
タ法律デスガ、營業時間ヲ六時カラ閉店セ  
イト言ツテアルノヲ七時ニスル、タッタ一時  
間延バスノニモ、百貨店委員會ニ掛ケナケ  
レバナラヌト云フコトニナツテ居ル、此二  
條ト十二條トノ矛盾ハ同ジ鐵道省ノ小運送  
法、或ハ同ジ立前ノ百貨店法ト法律ヲ舉ゲ  
レバ色々アリマセウガ、ドウシテコンナヤ  
ウナ罰則ヲ御決メニナツタノカ、又斯ウ云フ  
コトヲヤルノナラバナゼ調整委員會ニ掛ケ  
ナイノカ、小運送法ナドハ違反ガアツテモ現  
ニヤツテ居ル、是ハ大臣カラデナクテモ結構  
デアリマス、私ノ解釋ガ違ッテ居レバ御叱リ  
ヲ受ケレバ宜イノデスガ、私ニハサウ云フ  
風ニ見エルノデスガ、御所見ヲ伺ヒタイ  
○中島國務大臣 此罰則ハ今マデ地方鐵道  
法トカ、軌道法、或ハ自動車運輸事業法等  
ノ現在アル法律ニ規定セラレテ居ルコトヲ  
此處ニ列記シタモノデアリマシテ、別ニ是  
ガ新シイ罰則デモナク、現在施行シテ居ル  
モノデアリマスカラ、是ガ非常ニ無理ヲ感  
ズルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、尙ホ

詳細ハ政府委員カラ申上ゲルコトニ致シマス

○鈴木政府委員 只今大臣カラ御説明ガアリマンタ通リニ、此罰則ハ現在ニ於キマスル地方鐵道法、軌道法、自動車運輸事業法ニアリマス罰則ニ、内容ノ文字ハ違ツテ居ルノガアリマスガ、大體掲ゲテアルモノデアリマシテ、此罰則ヲ適用致シマスコトハ、要スルニ行政的ノ行為デアルカラ主務大臣ガ致シ、調整委員會ハ新シイ事業ノ計畫其他ヲ主ニシテ居リマスノデ、罰則ハ從來ノ監督官廳デ宜イ、而モ其罰則ノ内容ハ、從來ノ地方鐵道法及ビ軌道法其他ニ掲ゲテアルモノデアルカラ差支ナイト私達ハ考ヘテ居リマス、唯今申サレマシタ通リニ、此罰則ハ重要ナモノデアリマスカラ、命令違反ノ場合ニ必然的ニ掛ケルカドウカト云フコトハ、ソレハ行政官廳ト致シマシテハ其公益ノ重要性ヤ、其罰則ヲ受ケル事業者ノ影響ト云フモノヲ能ク考ヘマシテヤラナケレバナラヌカト思ツテ居リマスルガ、之ヲ要スルニ、今マデアル罰則ヲ掲ゲタモノデ、新シク茲ニ出テ來タ罰則デヤナイノデアリマス

○紅露委員 此法文ノ此處ニ現レマシタ沿革、ソレカラ此法文ヲ實施スルニ付テ大臣ガ慎重ニ考慮ヲセラレルト云フコトハ能ク分リマシタ、併シ權衡ヲ失シテ居ルデヤナ

イカト云フコトノ御説明ガナ、ソレカラ又同ジ鐵道省ノ管轄ニ屬スル小運送法ニ於テハ、一臺ノ自動車、一臺ノ「トラック」ヲ持ツテヤッテ居ル運送業者ノ免許ヲ持ツテヤッテ居ルヤウナ小運送業者ノ免許ノ取消トカ、或ハ免許スルコトデサヘモ委員會ニ掛ケルノデス、ソレダノニ——ソレハ重大ナ場合ニ反スルノナラバ宜イノデゴザイマス、併シ運賃ト料金ノ協定ヲセヨ、是ハ鐵道省ハ十五錢ニシタノダカラ十四錢ニシタラドウカ、或ハ此處ハ乘換ガ工合ガ惡イカラ此方ニ連絡セヨト云フヤウナ命令ニ反シテモ兎ニ角之ニ持ツテ行ツテ宜イ、慎重ニヤルト言ツテ見タ所ガ是レ以下ノモノハナモ免許一部ノ取消デヤアリマセヌカ、最モ軽イモノデモ事業ノ一部ノ停止デヤアリマセヌカ、最モ輕イモノデモ取締役、其他ノ役員ノ解任デアル、甚シイモノニナルト免許ヲ取消サレルト數千万圓ガフイニナルデヤアリマセヌカ、一體是バカリノコトヲ命

士ハ一年ニ三十人、四十人失格シテ行ク、一方ニ於テハ薬剣師ヤ醫者ハ一年ノ懲役ヲ喰ハウガ、六箇月ノ禁錮ニナラウガドンク」ヲ持ツテヤッテ居ル運送業者ノ免許ヲ取消ストカ與ヘルト云フノデモ鐵道省ハ慎重ニ扱ツテ委員會ニ掛ケルノニ、斯ウ云フ大キニ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ナ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ヘバ今申上ゲマシタヤウナ屁ミタヤウナコトダ、其屁ミタヤウナコトヲ決メルノニモ反シテモ兎ニ角之ニ持ツテ行ツテ宜イ、慎重ニヤルト言ツテ見タ所ガ是レ以下ノモノハナモ免許一部ノ取消デヤアリマセヌカ、最モ軽イモノデモ事業ノ一部ノ停止デヤアリマセヌカ、最モ輕イモノデモ取締役、其他ノ役員ノ解任デアル、甚シイモノニナルト免許ヲ取消サレルト數千万圓ガフイニナルデヤアリマセヌカ、一體是バカリノコトヲ命

士ハ一年ニ三十人、四十人失格シテ行ク、一方ニ於テハ薬剣師ヤ醫者ハ一年ノ懲役ヲ喰ハウガ、六箇月ノ禁錮ニナラウガドンク」ヲ持ツテヤッテ居ル運送業者ノ免許ヲ取消ストカ與ヘルト云フノデモ鐵道省ハ慎重ニ扱ツテ委員會ニ掛ケルノニ、斯ウ云フ大キニ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ナ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ヘバ今申上ゲマシタヤウナ屁ミタヤウナコトダ、其屁ミタヤウナコトヲ決メルノニモ反シテモ兎ニ角之ニ持ツテ行ツテ宜イ、慎重ニヤルト言ツテ見タ所ガ是レ以下ノモノハナモ免許一部ノ取消デヤアリマセヌカ、最モ軽イモノデモ事業ノ一部ノ停止デヤアリマセヌカ、最モ輕イモノデモ取締役、其他ノ役員ノ解任デアル、甚シイモノニナルト免許ヲ取消サレルト數千万圓ガフイニナルデヤアリマセヌカ、一體是バカリノコトヲ命

○中島國務大臣 大體此調整法ハ民間事業者及ビ民衆ノ希望ガ何年カ累積シテ今日發動スルヤウニナツタ状態デアリマスルカラ、此調整法ノ發動ノ場合ニハ事業者ガ喜ンデ之ニ協力スルト確信シテ居ルノデアリマス、トヲ信ジテ居リ、又ソレヲ希望シテ居ルノトガ極力言ツタ、コンナ法律ヲ通シタラ辯護士ハ皆免狀ヲ取ラレテシマフゾ、一箇月以

士ハ一年ニ三十人、四十人失格シテ行ク、一方ニ於テハ薬剣師ヤ醫者ハ一年ノ懲役ヲ喰ハウガ、六箇月ノ禁錮ニナラウガドンク」ヲ持ツテヤッテ居ル運送業者ノ免許ヲ取消ストカ與ヘルト云フノデモ鐵道省ハ慎重ニ扱ツテ委員會ニ掛ケルノニ、斯ウ云フ大キニ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ナ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ヘバ今申上ゲマシタヤウナ屁ミタヤウナコトダ、其屁ミタヤウナコトヲ決メルノニモ反シテモ兎ニ角之ニ持ツテ行ツテ宜イ、慎重ニヤルト言ツテ見タ所ガ是レ以下ノモノハナモ免許一部ノ取消デヤアリマセヌカ、最モ軽イモノデモ事業ノ一部ノ停止デヤアリマセヌカ、最モ輕イモノデモ取締役、其他ノ役員ノ解任デアル、甚シイモノニナルト免許ヲ取消サレルト數千万圓ガフイニナルデヤアリマセヌカ、一體是バカリノコトヲ命

士ハ一年ニ三十人、四十人失格シテ行ク、一方ニ於テハ薬剣師ヤ醫者ハ一年ノ懲役ヲ喰ハウガ、六箇月ノ禁錮ニナラウガドンク」ヲ持ツテヤッテ居ル運送業者ノ免許ヲ取消ストカ與ヘルト云フノデモ鐵道省ハ慎重ニ扱ツテ委員會ニ掛ケルノニ、斯ウ云フ大キニ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ナ重大ナ結果ヲ招來スル所ノ罰則ヲヤルノニ委員會ニモ掛ケズ命ズルコトハ何カト云ヘバ今申上ゲマシタヤウナ屁ミタヤウナコトダ、其屁ミタヤウナコトヲ決メルノニモ反シテモ兎ニ角之ニ持ツテ行ツテ宜イ、慎重ニヤルト言ツテ見タ所ガ是レ以下ノモノハナモ免許一部ノ取消デヤアリマセヌカ、最モ軽イモノデモ事業ノ一部ノ停止デヤアリマセヌカ、最モ輕イモノデモ取締役、其他ノ役員ノ解任デアル、甚シイモノニナルト免許ヲ取消サレルト數千万圓ガフイニナルデヤアリマセヌカ、一體是バカリノコトヲ命

ナコトヲシテ詰ラナイコトノ爲ニ非常ナル  
害ヲ業者ニ與ヘルト云フヤウナコトハ絶対  
ニナイト云フコトニ氣ヲ付ケテ行ク考デア  
リマス

## ○紅露委員 大臣ノ御言明ヲ信ジナイ譯ヂ

ヤナイノデスガ、私ハソレナラバ大臣ニ申  
上ゲル、敢テ鐵道省ニ限ラズ、内務省ニ限  
ラズ、私ハ決シテ人權蹂躪ノコトヲ言フノ  
デハナイノデアリマスガ、如何ニ大臣ノ命  
令ガ下級官吏ニ響クカト云フコトヲ二、三  
申上ゲマス、是ハ私何處デモ申上ゲタコト  
ハアリマセヌ、今調査中デアリマス、併シ  
事實デアリマス、如何ニ上級大臣ノ命令ガ  
下級官吏ニ影響スルカト云フコトヲ痛切ニ  
感ジ、慄然トシタ事例ガアルノデアリマス、  
大野伴睦君ノ選舉區デアリマス、丁度牧野  
良三君ト牧野賤男君ト私トデ選舉ノ臨時處  
置委員ヲ命ゼラレマシテ日本全國ヲ廻ッテ  
デモ御聞キニナッタ方ガアルト思ヒマスガ、  
其時ノ警察部長ヤ検事正ハ、極力ヤレ、サ  
ウシテ選舉違反ガアレバ絶対ニ許スナ、舉  
げヨト云フコトヲ強調セラレタサウデアリ  
マス、所ガソレヲ取違ヘタ警察官ハ何トカ  
シテ舉ガナケレバナラヌト云フノデ飛ンデ

モナイ間違ヲ致シマシタ、能クアルノデス  
ガ、縣廳カラ「赤誠一票棄權スルナ」トコンナ  
筒ニ入レマシテ或ル家ノ妻君ガ主人カラ賴  
マレテソレヲ各戸ニ配布シタ、所ガソイツ  
ヲ警察官ガ五十錢玉ヲ入レテ買收シタト云  
連レテ行ツテ一日間勾留シタ、僅カ十二、三  
ノ子供、ソレニ帽子ヲ買テヤッタリ、雑誌  
ヲ與ヘタリシテ言ハセテ供述書ヲ作リマシ  
テ

〔佐藤委員長代理退席、委員長著席〕

ソレニ基イテ委員ト其女房ヲ皆引括リマ  
シテ其女房ヲ宿屋へ留置致シ、全村殆ド何  
百人カ勾引サレタ、所ガ其子供ノ母親ガソレ  
ヲ恐レマシテ、遂ニ其子供ヲ短刀ヲ引抜イ  
テ右ノ肩カラ胸へ突刺シテ即死セシメ、母  
親ハ警察ノ門前デ首ヲ縊シテ死ンダ、ドウシ  
テサウ云フコトヲシタカト私調べマシタラ、  
結局警察部長ト検事正ガヤレ、一生懸命ヤ  
レト云フ命令ヲシテ、ソレヲ信ジテ巡查ガ  
ヤック、如何ニ上級官廳ノ命令ガ下級官吏ニ  
コンナ矛盾シタ、コンナ重罰ヲ科ス法律ハ  
ナイト思フノデアリマスガ、併シ大臣ト何  
遍押問答致シマシテモ同ジコトデアリマス  
ス、一體斯ウ云フヤウニ許可權ガ兩方ニア  
ルトカ、監督權ガ兩方ニアルカラ標準ガ違  
フノデス、ダカラ一般業者モ困ルデセウシ  
一般大衆モ困ルノデアリマス、此際一ツ英  
断シテ貰ッテ、サウシテ交通省ノ設置ガ出来

君ト二人デ極力主張スレバ、今日判事ニ賴  
ンデ一箇月ノ禁錮ヲ三千圓モ二千圓モノ罰  
繫イデ居ルト云フヤウナコトニ立至ラナカッ  
タノデアリマスガ、餘リ辯護士會カラ通セ  
ト言フ、業者モ之ヲ通セト言フ、三百サヘ  
取締レバ宜イノダト云フヤウナコトデ、ソ  
レ程君等ガ言フナラ通サウ、小山司法大臣  
モ、現ニ星島君居ラレマスガ、ソンナコト  
ニハ絶対ニ適用セヌト言フ、速記ヲ御覽下  
サレバ分リマスガ、其言明ガ數年ナラズシ  
テ肅正選舉ガ叫バレ、今日本當ニアノ選舉  
法ガ實施サレタラ、年々辯護士ハ何十人カ  
私ハ、決シテ此法案ヲドウショウ、斯ウシ  
ヨウト云フノデハアリマセヌガ、少クトモ  
此法案ハ權衡ヲ失シテ居リマス、小運送法  
ト比較シテモ、百貨店法ト比較シテモ、辯  
護士法ト比較シテモ亦二條ノ委員會ニ掛け  
ル條項ト比較致シマシテモコンナ不權衡ナ、  
コトニ致シマスガ、ドウカ一ツ大臣ニ於カレ  
マシテモ政府委員ニ於カレマシテモ此權衡

ヲ失シテ居ルト云フコトヲ一ツ御調査願ヒ  
タイト思ヒマス

最後ニ一點ダケ伺ヒマシテ私ノ質問ヲ打  
切リタイト思ヒマス、ソレハ内務省ニ對ス  
ル質問デアリマスガ、ドウモ私共一般大衆  
トシテ非常ニ不便ナコトヘ、監督權ガアチ  
コチニアルコトデアリマス、ソレハ色々昨  
日ノ田中君ノ質問トカ或ハ松永君ノ質問、  
深澤君ノ質問色々伺ッテ居リマスト、内務省  
ニ非常ナ關係ガアル、隨テ鐵道省一本ノ管  
轄ニスルコトハ出來ナイヤウナ事情ハアリ  
マセウケレドモ、兎ニ角コンナ大キナ劃期  
的法案ヲ出スノデアリマスカラ、ナゼ内務  
省ハ一切ノ監督權ヲ鐵道省へ御讓リニナラ  
ヌカ、現ニ讓ッタ例モアル、免許トカ或ハ特  
許ナドハ餘リ内務省ノ方デドン／＼自動車  
ヤ「バス」ナンカ許スモノダカラ、コンナ調  
整法ヲ出サナケレバナラヌヤウニナルノデ  
困ルト云フノデ、鐵道省ハ憤慨シタカシナ  
イカ知リマセヌガ、兎ニ角交渉ノ結果許可  
權ヲ今ハ鐵道省ガ取ツテ居ルヤウデアリマ  
ス、一體斯ウ云フヤウニ許可權ガ兩方ニア  
ルトカ、監督權ガ兩方ニアルカラ標準ガ違  
フノデス、ダカラ一般業者モ困ルデセウシ  
一般大衆モ困ルノデアリマス、此際一ツ英  
断シテ貰ッテ、サウシテ交通省ノ設置ガ出来

ナイノナラ、一ツ監督權ヲ鐵道省へ御譲リニナツカラ宜イヂヤアリマセヌカ、ドウシテ内務省ガ之ニソンナニ容喙シテ監督權ヲ持ッテ居ナケレバナラヌカ、今マデノ情實因縁ハ捨テモ宜シイ、少々ノ不便ハ忍ンデモ宜シイ、例ヘバ私共假ニ何カ願書ヲ出ス、鐵道省へ行ケバ内務省へ行クテ吳レ、内務省へ行ケバ鐵道省へ行クテ吳レト言フ、ドウモ非常ナ不便ト困難ト苦痛ヲ感ズルノデアリマシテ、是ハ一ツ大臣トモ御相談ノ上デ、此際ハギリ一ツ管轄權ヲ鐵道大臣ノ方へ御譲リニナツテ戴キタイノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイ

○勝田政府委員 交通事業ノ監督官廳ノ管轄權ノ委譲ノ點——頗ル不便デアル、之ニ對シテ先づ統制トカ調整ラシタラドウダト云フヤウナ御意見ニ拜聽シタノデアリマスガ、御趣旨ニ於キマシテハサウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマスガ、併ナガラ之ヲドウ云フ風ニ調整スルカト云フコトニ付テハ、色々々見解モアラウト思ヒマス、吾々ハ内務省トカ鐵道省トカ云フ立場ヲ離レテ考ヘマシテモ、道路ハ御承知ノ通リニ今日内務省ノ監督下ニアル、又大都市ノ都市計畫ト云フヤウナコトハ、是ハ御承知ノ通リ是亦内務省ノ監督下ニアル、サウ致シマスルト、

或ハ大都市ノ交通機關ニ對スル監督權モ全モ亦或ハ合理的ノ考ヘ方ヂヤナイカト云フヤウニモ考ヘラレルノデアリマスカ、色々見方ヲ違ヘマスニ依ツテ結論ガ違テ參リマス、今日ノ所デハ色々ノ結果ヲ綜合致シマシテ、先づ此程度テヤッテ行クノガ最モ穩當デハナイカト云フコトデ、今日斯ウ云フヤウナヤリ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、時代ノ推移ニ從ヒマシテ又色々變ルコトガアルカモ知レマセヌガ、現在ノ所デハ是以上ノコトハ考ヘテ居リマセヌ

○紅露委員 ソレガ私ハイカヌト云フノデス、法律ヲ拵ヘルノニ現在ノコトノミヲ考ヘテヤラレタノデハ、吾々一般大衆ハ困ルノデス、何故政府ハ將來ノコトヲ考ヘラレヌカ、此法律ヲ適用スルノハ將來デヤアリマセヌカ、現在斯ウナツテ居ルノダカラ、此法規ヲ拵ヘル、ソレダカラ私ハ内務省ノ頭ハ古イト言フノデス、ソンナコトデヤイカヌクノデス、ソンナ頭ガ古イカライカヌ、ダカラ是ハ一ツ本當ニ——私ハ決シテ内務省ノ權限ヲ縮小シロト言フノデヤアリマセヌ、何デモナイノデスガ、ドウカ一ツ先力ナ言フ通り、法案審議ニ當ラテハ、役所デモナルトカ、イヤ俺ノ在任中ニコンナ法律ヲ拵ヘタカラコント效果ガアル、ソンナコトモ折角コント劃期的ナ——恐ラク是ハ電力國家管理案以上ノ法規デアルト思フ、ドウモ鐵道省ニハ頭ノ良イ利口ナ人ガ澤山居リマシテ、此間ノ小運送モ是ハ決シテ小運送デアリマセヌ、恐ラク電力國家管理案ヨリモ此案ガ數倍ニナル譯デアリマス、何

故ナラバ、鐵道、艦船ニ依ツテ運ブノハ別ト  
シテ、各驛ニ集ツテ來ル運賃ハ、學者ニ依ツ  
テハ十億万圓、甚シイ學者ハ二十五億万圓  
ト言ウテ居ル、二十五億圓ト言ヘバ、一割  
減ツタツテ二億五千万圓ト云フ運賃ガ下ゲラ  
モ鐵道省ニハ頭ノ良イ利口ナ人ガアツテ、運  
送法ノ上ニ小ト云フ字ヲ付ケテ小運送、而  
モ臨時議會ニ之ヲ出シテ到頭アレヲ通シテ  
シマッタ、此法案ダツテ御覽ナサイ、是ダツテ  
電力國家管理案以上ノ大法案デアリマス、  
然ルニ社會ハ之ニ對シテ一顧モ與ヘナイ、  
唯新聞ノ横ノ方ニ陸上交通事業調整法ト云  
フ法案ガ出タサウダト云フ位デ、洵ニ頭ガ  
カラ、ドン／＼通ツテシマフノデスガ、内容  
ハ非常ナモノデス、國鐵ニ從事スル者二十  
万人、投ゼラレテ居ル固定資本四十二億或  
ハ三十八億ト言ハレル、地方鐵道、軌道、  
乗合自動車ヲ入レ、バ、從事員ハ六十万人  
ヲ突破シマセウ、七十億ニ垂ントスル此大  
キナ投資額ヲ左右スル大キナ法案、コンナ  
計期的法案ヲ出スノニ、内務省ハ何故一ツ管  
轄權ヲ鐵道省ニ御譲リニナラヌカ、是ハ大  
意デ言フノデス、決シテアナタノ省ノ管轄

ヲ縮メロト言フノデハナイノデス、是ハ此際御考慮アツテ然ルベキダト思フノデアリマスガ、重ネテ御尋致シマス  
○勝田政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ、只今ノ程度デハ斯ウ云フ方法デ宜カラウ、コトハ自ラ別ニ交通省ト云フコトモ考ヘラレルノデハナイカ、唯繰返シテ申上ゲマスガ、此監督權ノ調整ト云フコトニ於キマシテ、大都市ノ交通機關ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ不幸ニシテアナタト見解ガ違フカ知レマセヌガ、私ノ個人ノ考ヲ率直ニ申シマスレバ、斯ウ云フモノニ限ッテハ、ソレヲ監督シテ居ル殊ニ都市計畫執行竝ニ監督ノ任ニ當ッテ居ル役所ニ於テ之ヲ統制スルノガ宜イノデハナイカ、斯ウ率直ニ私ハ申上げテモ宜イト思フ、併ガラ斯ウ云フ譯ニモ參リマセヌシ、兎ニ角一應現在ノ監督方針ニ依ッテ、鐵道、内務兩省デヤツテ行ク、是デ十分監督出來ル、斯様ニ兩省ニ於テ確信シテ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ、此法案ハ兩省ノ共同提案デアリマス、斯ノ如ク提案ガ出來ルコト自體ニ於キマシテモ、ジテ居ルノデアリマスカラ、兩方ガ共管ヲ十分ナ協調ガ兩者ノ間ニ出來得ル、斯ウ信シテ居ルト云フコトニ依ッテ起ツテ來ル不便

ト云フモノハ出來ルダケ避ケマシテ、寧ロ  
サウ云フモノヲ利益ノ方ニ持テ行キタイ  
ト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、ド  
ウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス  
**○星島委員長** ソレデハ之ニ關聯シテ居ル  
コトデ、井阪君  
**○井阪委員** 極ク簡単デアリマス、認可ヲ  
得マシテ未ダ開業シナイ所ノ自動車事業モ  
此調整ノ範圍ニ入ルヤ否ヤ、此點ニ付キマ  
シテ有效デアルトカ無效デアルトカ法律案  
ガ兩方ニ分レテ居リマスガ、政府ノ御意見  
ハ如何デアリマセウカ  
**○中島國務大臣** 政府委員カラ御答致サセ  
マス  
**○鈴木政府委員** 自動車デ免許ヲ受ケテ居  
ルモノモ、所謂調整區域ニ入リマスモノデ、  
其調整スベキ事業ノ範圍ニ入リマスレバ、  
ソレハ考ヘナケレバナラヌカト思ヒマスケ  
レドモ、併シ免許ダケ得タルモノデアレバ、  
實際問題トシテハ免許權ダケノ問題デスカ  
ラ、サウ問題ニナラナイノデハナイカト思  
ヒマス、或ハ地方鐵道デアリマスレバ、免  
許ヲ得テ、開業シナイデモ、工事ヲシテ居  
ルモノガアリマスカラ、ソレハ實體上大イ  
モ、自動車デ免許ノ權利ダケ得テ居ツテ、

○井阪委員 私ノ質疑ガ徹底致シマセヌデシタガ、認可ヲ得マシテ既ニ材料ヲ手許ニ調べマシテ、唯開業ニ至ラヌモノニアリマス

○鈴木政府委員 サウ云フ場合ニ於テハ、考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス、所謂調整ノ事業ノ範圍ノ中ニ、入レナクテハナラヌカト思ツテ居リマス

○井阪委員 サウシマスト此法案ニ於キマシテ、關係事業者トシテ改メテ取扱フコトニナリマスカ

○鈴木政府委員 サウ云フコトニナリマス

○星島委員長 永江一夫君

○永江委員 私モ一寸一言紅露君ノ質問ニ關聯シマシテ、昨日私ガ御尋シマシタ交通事業調整委員會ノ組織構成ニ付キマシテ、私共ガ承ッテ承知ヲシテ居リマシタ點ニ付テ、本日ノ御答辯ニ依リマシテ若干疑問ガ生ジマシタノデ、其點ヲ大臣ヨリ明ニシテ戴キタイ、ソレハ昨日大臣ハ此構成ハ貴衆兩院議員及ビ學識經驗ノアル者以外ニ、民間ノ營利會社ノ者ヲ入レル場合ニハ、ソレナ御答辯デアッタノデアリマス、サウシテ此

委員會ヲ非常ニ公平ニセシメル爲ニハ、出  
來ルダケ乗物ニ乘ル側ノ大衆ノ意思ヲ反映  
セシメルト云フヤウナ御趣旨ニ承ツテ居ツタ  
ノデアリマスガ、只今サウ云フ側ノ代表者  
ハ、貴衆兩院議員ヲ以テ大體代表者トスル、  
斯ウ云フヤウニ御答辯ニナッタノデアリマ  
スガ、サウ致シマスト、業者ノ方ハ色々々  
形ニ於テ此委員會ニ參加スルコトガ出來ル  
ノデアリマスガ、電車「バス」ニ乘リマス側ヲ  
代表シテ居リマス者ハ、貴衆兩院議員ヲ以  
テ之ニ充テル、斯ウ云フ只今ノ御答辯デア  
リマスト、私ハ此點ニ付テ更ニ御尋ラシテ  
置キタイコトハ、貴衆兩院議員ノ中ニハ、  
民間營利會社ノ株主或ハ重役ガ多數居ラレ  
ルノデアリマス、ソレデ政府カラ此委員ノ  
任命ヲ爲サル時ニハ、貴衆兩院議員ノ中カ  
ラ任命ヲセラレル、政府ハ貴衆兩院議員ト  
云フ形デ任命サレマシテモ、其人ノ實體ハ、  
民間營利會社ノ株主デアツタリ或ハ重役デ  
アル場合ガアリマス、サウ致シマスト折角  
乗ル大衆ノ側ヲ代表スルトシテ政府カラ御  
指名ニナッタ其人ガ、民間營利會社ノ重役乃  
至ハ株主デアリマスト、此點調整委員會ニ  
反映サレマス所ノ意見ガ、非常ニ不公平ニ  
ナルヤウナ嫌ガアルノデゴザイマスガ、此  
點ハドンナモノデゴザイマセウカ

○中島國務大臣 利用者側モ貴衆兩院議員  
以外ニ採ルノデアリマス、學識經驗者ト云  
フ者ノ中ニモ其代表ヲ送リマセウシ、又地  
方ニ於ケル臨時委員ノ中ニモ、ヤハリ利用  
者、一般民衆ヲ代表スル者ヲ採ツテ行キタ  
イト云フ考ヲ持ツテ居リマス、尙ホ此貴衆兩  
院議員ノ中ニモ、只今御述ニナラレタヤウナ  
事業會社ノ重役ト云フヤウナ、特ニ事業ヲ  
代表シテ居ルト云フヤウナコトデハ、或ハ  
一般民衆ヲ代表シナイコトニモナリハセヌ  
カト云フコトハ、御尤デゴザイマスカラ、  
任命ニ際シテハ、十分考慮シテ行キタイト  
思ツテ居リマス

○永江委員 謹イヤウデアリマスガ、從來  
政府デ任命セラレテ居リマス斯ウ云フ特別  
委員ト云フモノノ構成ハ、議員ノ名前ハ付  
イテ居リマシテモ、實質的ニハ其人ノ職業  
カラ見マスト、私共ハ非常ニ不満ナ場合ガ  
多いノデアリマス、時間ガアリマセヌカラ  
アル場合ガアリマス、サウ致シマスト折角  
調整法ナルモノハ、非常ニ改革的ナ法案デ  
アリマシテ、詳細ハ吾々ガ今ノ所デハ察ス  
例ヲ舉ゲルコトハ省キマスガ、本交通事業  
ルコトガ出來ナイノデ、一切ハ懸ツテ交通  
事業調整委員會ニ總テ吾々ハ信賴ヲ置イ  
テ、此議事ヲ進メケレバナラナイト思ヒ  
マス、ドウカ此委員會ノ構成ニ付キマシテ

ハ、今大臣ガ御言明ニナッタヤウニ、學識經  
驗ト云フ中ニモ、場合ニ依リマシテハ、ヤ  
ハリ民間營利會社ト何等カノ關係ヲ持ツテ  
居ル者ガ、學識經驗者ト云フ名義デ選バレ  
ル弊害ガアルノデアリマスカラ、學識經驗  
ノ中ニモ、貴衆兩院議員ノ中カラ出ル者ノ  
中ニモ、大ナリ小ナリ營利會社ト關係ノア  
ル者ハ絶對ニ選バナイ、斯ウ云フコトヲ私  
ハ切ニ御願シテ置キマス

○星島委員長 清水德太郎君  
○清水委員 私昨日大臣ガ本會議マデ一時  
間ノ餘裕シカナイト思ヒマシテ、私一人デ  
其一時間ヲ占領スルト云フコトハ甚ダ恐縮  
ニ存ジマシテ、簡單ニ大事ナ點ダケヲ御尋  
シマシテ、其他ノ點ハ他ノ方ニヤッテ貰フヤ  
ウニト思ツテ居リ、且ツ體ノ都合モ惡ウゴザ  
シマシシ、他ニモ委員會ヲ持ツテ居リマス等、  
色々ナ關係デ途中デ退席シ、皆サンノ貴重ナ  
ル質問モ拜聽出來ナイデ、殘念ニ思ヒマス、  
ソシテ又私ノ質問スルコトガ重ッテモ洵ニ相  
互に御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

先程紅露君モ仰シャイマシタガ、此法案  
ノ要ハドコニアルノカ、先づ會社ヲ目的ト  
スルヤウナ感ジガスルノデアリマス、即チ  
會社ノ合併トカ、會社ヲ新ニ作ルトカガ目  
的デハナイカ、斯ウ云フ風ニ一寸取レルノ  
デアリマス、ソレニ付テ鐵道ト軌道ト自動

車ニ依ッテ現在ノ状態ヲ考ヘテ見マスト、私ノ一番  
大都市ニ付テ考ヘテ見タ一、先ツ  
トヲ目的トシテ居ラレルカ、此法案ノ出方  
御尋シタイコトハ、經營ヲ誰ニヤラセルコ  
ハ如何ニモ會社ノヤウニ見エルガ、ソレナ  
ラバ會社トシテ進ンデ行ツテ宜イカ、私ハサ  
ウモ行カヌヤウニ思フノデアリマス、ソレ  
ニ付テ例ヲ舉ゲテ、具體的ニ申上ゲテ、ソ  
レカラ更ニ質問ヲ進ヌマスガ、先ツ自動車  
トカハ如何、殊ニ名古屋ナドハ公營、即チ市  
ノ經營ニ大體統一サレテ居ル、京都デモ、神  
戸デモ大體公營——市營ニ行キ易イ傾向ヲ  
持ツテ居ル、然ルニ東京市ハ公營ガ巧ク行カ  
ヌヤウニ見エル、先ツ設備ガ非常ニ惡イ、  
逆モ私營ニ及バナイ、尤モ運賃ハ安ウゴザ  
イマス、電氣局ガ古イ歴史ヲ持ツテ居ツテ、設  
電車ノ經營ガ困難ナコトカラ、儲ケヲ乗合  
自動車デ取ラウトシテ居ル結果トシテ、設  
備ヲ悪クシテ居ルト云フヤウナ特殊ノ事情  
ガアツテ、東京市デハドウモ公營ガ巧ク行キ  
サウモナイ、ソレナラ東京市ニ於テ、ドウ  
ガ宜イノデハナイカト云フ見方モアル、全  
然民有民營ニシテシマウト、今度ハ東京市  
ノ監督、都市計畫ニ翻譯スルコトガアル、

是ハ非常ニ大キナ問題デアルカラ、ドウモ自動車ノ經營ヲ全部民有民營ニ移スコトハ非常ニ困難デアル、今日サウサセルコトハ難カシイ、ソコデ市有ニシテ民營ノ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ考モ浮ブノデアリマス、要スルニ第一ニ自動車ニ付テ、六大都市ニ於テハ何ニ依ツテ經營スルノガ一番宜イカト云フ御考ヲ持ツテ居ラレルカラ御尋シマス、又ドウ云フ態度デ行クコトガ此法ノ精神ニ副ウテ居ルカ、公營一色デハ翻譯シナイカドウカ、斯ウ云フ點ヲ御伺スルノデアリマス、地方鐵道ニ付テ申シマシテモ同ジコトデアル、昨日モドナタカ御質問ニナリマシタガ、山ノ手線ヲ民營ニ拂下ゲタラドウカト云フヤウナコト、又東京市關係ノ電車ヲ全部私設鐵道會社ニヤラセタラドウカト云フコト、是ハ都市計畫ニモハ大キナ影響ガアルノデモ知レナイ、若シ之ヲ國有ニ出來ルナラバ、國有是レ亦宜イ、此頃一番評判ノ好イノハ、是ハ大臣ニ御世辭ヲ言フノデハナイガ、私ハ省營電車ガ今ノ現狀カラ申セバ一番流行ルト思フ、ソレハ運賃ガ安クテ、設備ガ良イカラデ、運賃ガ安ク設備ガ良イナラ是ハ可ナリ良イケレドモ、運賃ガ高イカラ省營

イカモ知レヌト云フコトニナル、公營デハ  
ドウモ巧ク行カヌヤウニ思フ、即チ市營デ  
ハ巧ク行カヌカラ民間ニ經營サセタ方ガ却  
テ宜シイヤウダト云フ空氣モ澤山アル、私  
ハ自分ノ意見ヲ茲ニ申述ベルコトハ、質問  
ニナリマセヌカラ言フノヲ留保致シマスガ、  
取敢ズ大臣ハ其點ニ付テドンナ研究ト方針  
ヲ以テ居ラレテ、此重要ナ法案ヲ御出シニ  
ナツタノカ、ソレヲ聞キタイノデス、ソシテ  
更ニ進ンデ大臣ノ御決心ヲ承リタイ、コン  
ナ重要ナ法律ガ出來テモ之ヲ遂行スル強イ  
決心ト云フモノガ無ケレバ行ハレルモノデ  
ハナイ、即チ其決心ガナケレバ斯ウ云フ重  
要ナ法律ヲ作ルコトハ無意味デアル、先程  
紅露君モ言ハレタヤウニ、今回重大法案ガ  
澤山出テ居ル時ニ、又舉國一致ヲ要スル時  
ニ、小サイ反對ナド愚圖々々言フナト云フ  
空氣ガアル時ニ、コソット出ス鐵道省ハ中々  
上手デアル(笑聲)此前澤山ナ定員ヲ取ラレ  
タ時モ、多クノ人ガ知ラヌ中ニイツノ間ニカ  
モ殊更ラ豫算委員會ニ行ッテモ他省ニ知レ  
ヌヤウニ苦慮シ、質問モセナンダヤウナ譯  
デ、中々鐵道省ハ上手デアル、今回モ巧イ

モノデス(笑聲)巧イモノデスガ、巧イカラト云ツテ此重要法案ヲスラノ通ス譯ニハ行カナイ、行カナイカラ——實ハ私ハドコノ委員會モ志望シナイデ、係リ幹部ノ仰シヤル儘ニ委員會ニ出テ居ツタノデスガ、此委員會ダケハ自ラ志望シタノデス、即チ多クハ氣ガ付カナクテスラリト放ツテ居ル中ニ通ルノデハナイカト云フ懸念カラ勇ラ鼓シテ志願シテ此委員會ニ出テ來タノデアリマス、私ハ鐵道ノ飯ヲ九年モ食ヒ、地方官ノ飯ヲ九年モ食ヒマシタ、今デハ野武士ニ憂フルノ誠意カラ、默ツテ居ヌヤウナ氣ガシテ、私ハ志願シテ出テ來タ譯デス(笑聲)

志願シテ出テ來タカラニハ、細カイ點ハ兎モ角モ、大事ナ點ハ及バズナガラ人カラ非難サレナイヤウナ法律ニスルヤウ御手傳シナケレバナラヌト思フノデアリマス

第二ニ御尋シマスガ、大臣モ之ヲ御出しニナル以上ハ、非常ナ決心ヲ御持チニナラナケレバ實行ガ出來ナイ筈デアル、私ハ大臣ガ此案ヲ出サレル度胸ニ感心シタ、隨テ思切ツテヤラレル度胸ガアルノダラウト思ツテ居ル、出ス以上ハ大イニヤル積リデナケレバ出ス筈ハナイ、ダカラ大臣ノ赤裸々ナ御決心ヲ一ツ聽カセテ戴キタイ

其次ニ是モ人サンガ御尋デナイカモ知レヌカラ御伺シマスガ、之ヲ扱フ時ニ何處デ御扱ニナルカ、多分監督局デセウガ、ドウニ通ルノデハナイカト云フ懸念カラ勇ラ鼓シテ志願シテ此委員會ニ出テ來タノデアリマス、私ハ鐵道ノ飯ヲ九年モ食ヒ、地方官ノ飯ヲ九年モ食ヒマシタ、今デハ野武士ニ憂フルノ誠意カラ、默ツテ居ヌヤウナ氣ガシテ、私ハ志願シテ出テ來タ譯デス(笑聲)

二級ヲ成ベク少クスルヤウニシテ、寧ロソ他ノ者ノ昇給ガ遲レルカラ、即チ此一級、ナイカ、又一級、二級ノ判任官ガ澤山アッテ任官ノ待遇ニシテ能率ヲ擧ゲタラ宜イデハ譯ハ主トシテ雇員ノ中ニハ八十五圓モ取ツテ居ル人ガ澤山居ルカラ、同ジ給料ナラ判テ云フコトガ調整法ノ根本方針デアリマシテ、如ニ見テモ非常ニ不經濟デアル、之ヲ除クト用スル民衆モ不便ヲ感ジテ居リ、又國家的複シ競争ノ態ニアツテ、ソレガ爲ニ營業者モ非常ナ苦痛、不利ヲ忍ンデ居リ、又之ヲ利根本ハ、要スルニ現在交通事業ガ非常ニ重複シ競争ノ態ニアツテ、ソレガ爲ニ營業者モ非常ナ苦痛、不利ヲ忍ンデ居リ、又之ヲ利

○中島國務大臣 御答致シマス、第一點ハ

經營體ニ對スル方針ト云フコトデアリマシタガ、此調整法ノ目的、調整スペキ方針ノ御扱ニナルカ、多分監督局デセウガ、ドウニ通ルノデハナイカト云フ懸念カラ勇ラ鼓シテ志願シテ此委員會ニ出テ來タノデアリマス、私ハ鐵道ノ飯ヲ九年モ食ヒ、地方官ノ飯ヲ九年モ食ヒマシタ、今デハ野武士ニ憂フルノ誠意カラ、默ツテ居ヌヤウナ氣ガシテ、私ハ志願シテ出テ來タ譯デス(笑聲)

二級ヲ成ベク少クスルヤウニシテ、寧ロソ他ノ者ノ昇給ガ遲レルカラ、即チ此一級、ナイカ、又一級、二級ノ判任官ガ澤山アッテ任官ノ待遇ニシテ能率ヲ擧ゲタラ宜イデハ譯ハ主トシテ雇員ノ中ニハ八十五圓モ取ツテ居ル人ガ澤山居ルカラ、同ジ給料ナラ判テ云フコトガ調整法ノ根本方針デアリマシテ、如ニ見テモ非常ニ不經濟デアル、之ヲ除クト用スル民衆モ不便ヲ感ジテ居リ、又國家的複シ競争ノ態ニアツテ、ソレガ爲ニ營業者モ非常ナ苦痛、不利ヲ忍ンデ居リ、又之ヲ利

自動車營業者ハ其決定ノ遲イニニ呆レテ居ル、是ハ手ガ足ラスト云フコトガ與ツテ力  
ガアルノダカラ、人ヲ御増シニナルコトハ  
結構ダト私ハ思ヒマス、其他ノ事ハ速記録ヲ  
見タ上デ、尙ホモウ一遍重ネテ、問フコト  
ニ致シマシテ、餘リ時間モ長クナリマシタ  
カラ皆サンモオ厭キデアラウト思ヒマスカ  
ラ止メマスガ、一言之ニ關聯シテ居リマス  
カラ御尋致シタイコトガアリマス、ソレハ  
東京市ノ圓「タク」ノ事デアリマス、是ハ「ガ  
ソリン」ヲ現在儉約シナケレバナラヌ時ニ  
ヨリ外ハナイ、是ハ主トシテ警視總監ノ任務  
デアルガ、元來圓「タク」ト云フモノハ何處  
ノ國へ行ツタゞモ、多クノ場合ニ於テ運轉手  
ガ同時ニ營業主デアッテ、車モ一臺シカ  
持タナイ、サウシテ地理モ非常ニ詳  
シイ上ニ、綿密ナ地圖ヲ必ズ持ツテ  
居ル、デアルカラ自動車ノ運轉手ガ交番ヘ  
行ツテ巡查ニ道ナドヲ聽カウモノナラ御叱  
リヲ受ケル、御前地圖ヲ持ツテ居ルカ、免狀  
ヲ持ツテ居ルカ、斯ノナ町ガ分ラヌカ、試驗  
ヲ受ケナカッタノカト斯ウ云フ風ニ頭ゴナ  
シニヤラレルノヲ私共ハ見テ來テ居ル、然ル  
ニ東京ノ運轉手ノ中ニハ道モ碌スツボ知ラ  
ナイ者ガアツテ著ク場所ヲ探スノニ無駄ニ

「ガソリン」ヲ費シテ、グル／＼廻ツテ、私共モ隨分災難ヲ受ケテ居ル、一體コンナ馬鹿ゲタ話ガ何處ノ世界ニアルカ、實ニドウモ情ケナイ、而モ「メートル」制ヂヤナイカラ料金ノ如キモ不公平極マルモノダ、驅引ノ如何ニ依ツテハ安イノニ乗ッタリ高イノニ乗ツタリ、斯ンナ不公平ナ話ガ何處ニアルデセウカ、伯林ノ如キハ御承知ノ通リ二人以上乗ッタ場合ト一人ノ場合トデハ廻ル「メートル」ガ違フ「メートル」ガ二ツ備ヘテアル、サウシテ一人ノ時ニハ遅イ「メーター」ガ廻ツテ、二人以上ノ時ニハ速イ「メーター」ガ廻ル、サウシテ大キイ荷物ヲ持ツテ居ル時ニハ、二人以上ノ扱ラシテ距離ノ如何ニ拘ラズ「メーター」ノ外ニ三十錢加ヘル、サウシナイト近イ所ガ不公平ニナルカラデアル、實ヤリ方デス、サウシテ距離ノ如何ニ拘ラズ「メーター」ノ外ニ三十錢加ヘル、サウシナイト近イ所ガ不公平ニナルカラデアル、實都市計畫ヲ爲ス時ニ各方面ニ駐車場ヲ拵ヘテ置クベキデアッタ、然ルニ駐車場ノ豫定ガスル、オ客サンハ擱ヘルノニハ便利ダケレナイモノダカラ駐車場ヲ澤山設ケナイ、サウシテ流シ圓「タク」ノヤウナ無駄ナコトヲスルモ、豫メ待ツテ居ル所ガアリマスレバ、私

共モ其一人デスカラ人ノ惡口モ言ヘマセヌケレドモ、自動車ニバカリ乗ツテ居ルト體ノ爲ニ宜クナイノダカラ、駐車場ヘ行ツテ乗ルイタ方ガ宜イノデス、駐車場ヘ行ツテ乗ル習慣ヲ付ケルコトハサウ困難デハナイ、其内ニ待ツテ居レバ歸リノ圓「タク」モアルノダカラ、サウアリタイモノデアル、要スルニ圓「タク」モ同様ノ精神デ調整アツ途ヲ講ジタラバ如何ノモノデセウカ、内務當局ハドウ云フ決心ヲ持ツテ居ラレルカ、是ハ同僚ノ勝田君ニ聽クコトガ目的デハナイノデスカラ、即チ同僚ヲ苦シメル意味デハアリマセヌノデ、今日ハアナタハ御答ニナラナイデモ宜シ、誰カ差障リノナイ人デ結構デアリマスカラ、主トシテ警視總監ハドウ云フ決心ヲ持ツテ居ラル、カ、其意見ヲ聽カシテ戴ケレバソレデ宜イノデス、参考マデニ御話シテ置クノデアリマス

デ、追ッテ調整委員會ノ意向ナドヲ參酌致シ  
マシテ、此勅令ニ依ツテ決メテハ如何カ、斯  
様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、清水君ノ御  
述ニナリマシタ通リ、「タクシー」ノ營業者  
ハ大體個人營業ガ多イノデアリマスカラ、  
會社ノ合併トカ増資ト云フヤウニ簡單ニハ  
參リマセヌノデ、専門家ノ意見ヲ聽キマシ  
テ、若シ此法律ノ適用ヲ受ケル範圍内ニス  
ル方ガ宜イト云フコトデゴザイマスレバ、  
勅令デ指定スル、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リ  
マス、尙ホ東京市ノ「タクシー」ニ付キマシ  
テハ色々御話モゴザイマシタ、私モ大體同ジ  
ヤウナ經驗ヲ嘗メテ居ルノゴザイマスルガ、  
之ニ付キマシテ調整委員會ニ於キマシテ、  
差當リ駐車場ノ増設、深夜流シノ廢止ト云  
フコトヲヤッテ居リマスガ、尙ホ本年ノ秋頃  
カラハ「タクシー」ハ「メーター」制度ニシヨ  
ウト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、目下著々  
研究ト準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、  
他ノ都市ニ於キマスル「タクシー」ノ「メー  
ター」制度ノ採用ハ大體好良ノ成績ヲ擧ゲ  
テ居ルヤウニ考ヘテ居リマスノデ、東京市  
モ左様ニナリマスレバ、只今仰シャッタヤ  
ウナコトモ相當緩和セラレルグラウト考ヘ  
ルノデアリマス、大體御諒承願ヒマス

ラ「タクシー」ノ問題ノ御話ガアリマシタガ、東京市ノ「タクシー」デゴザイマスルガ、東京市ノ「タクシー」ハ「タクシー」業者ガ約七千人アリマシテ、車ガ一万臺位デアリマスルカラ、殆ド個人營業ガ多イノデアリマス、而シテ其業態モ餘り良イ成績ヲ示シテ居リマセヌノデ、是マデ自動車營業改善調査委員會ニ於キマシテモ、此改善方ニ付テ隨分色々論議サレマシテ、サウシテ大體資本統制ニ行ク前提トシテ、商業組合ヲ結成スルガ宜カラウト云フノデ、結成致シタノデアリマス、何レソレニ依リマシテ事業ノ合理化モ圖ラレマセウシ、又今秋カラハ「メーター」制ヲ利用スルコトニ依ッテ、運賃ノ正當化モ圖ラレテ來マセウカラ、段々良クナッテ行クコトダラウト思ヒマスガ、其推移ヲ見、又交通事業調整委員會ノ意見モ聽キマシテ、東京ノ場合ニ於キマシテハ勅令ニ依ツテ「タクシー」ヲ指定スルカドウカラ決メタイト考ヘテ居リマス

ナツテ居ル性質ノモノデハナイノデハナカ  
ラウカ、時々オ客サント喧嘩シテ居ルノヲ  
見ルト、自前デナイ運轉手ガ多イ、自作農  
ノ尊重サレルト同ジヤウニ、自前ノ運轉手  
ガ營業シテ居ルト云フコトガ立前デアッテ  
宜イト思フ、詰リ中產階級ニナルノダカラ、  
ソレガ堅實ナ國民ナノダカラ、サウスルト  
オ客サンガ大事、自分ノ商賣ガ大事、車ガ  
大事ダカラ、速力モ無理ナ速力ヲ出サナイ  
デ事故ガ少クナリ、オ客モ大事ニシ、氣持  
好クナル、然ルニ助手マデ附イテ居ルヤウ  
ナ譯ノ分ラヌ人ガアルト、私共議會ニ來ル  
ニモ助手ノ附イタノハ氣持ガ悪イヤウデ、  
助手ノ附カナイノヲ選ブ、是ハ自前ヲ選ブ  
ト云フ意味ナノデアリマス、サウ云フヤウ  
ニアルベキモノデハナカラウカ、サウシテ  
東京市モ何カノ機會ニ於テ町ヲ整然トスル  
ヤウニ番地ヲ少シ改良シタラドウカト思フ、  
逆モ番地ガ複雜デ、分リ惡クテ、運轉手泣  
カセ、オ客泣カセデアルカラ、モット整然ト  
行シテ聽カナイデモ濟ム、運轉手ノ試験ナド  
番地ヲ追シテ行クヤウニスレバ、一々交番ニ  
立派ナ地圖ヲ見レバ運轉手モ分ルノデアル  
テ、必ズ地圖ヲ備へ付ケルヤウニサセル、  
カラ、寢轉シデオ客サンヲ待ツテ居ル暇ノ

間ニ、其地圖ヲ廣ゲテ見テ、オ客サンノ便利ヲ圖ルヤウニシタナラバ、仕事ノ能率ガ擧ガルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、是ハ私毎日體驗シテ居ル事情ヲ——無論御承知ノコトト思フケレドモ、念ノ爲メ御参考ニ申上ゲテ置キタインノデアリマス、餘リ長クナルト惡ウゴザイマスカラ是デ止メテ置キマス

○星島委員長 大體總括質問ハ是デ終ツテ、若シ總括質問デ残ツテ居レバ「簡單ニ御發言ヲ願フコトニシテ、明日ハ逐條ノ審議ニ移ルト云」方針デ進ンデ行キタイト思ヒマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○星島委員長 ソレデハサウ云フコトニ致シマス、今日ハ五時頃マデヤル積リデアリマスカラ、其間ニ簡單ナ質問ガアレバ御許シ致シマス

○坂下委員 私本會議ノ時ニ御伺申シマシタ其最後ノ一點ニ付テ、モウ一度大臣ノ御答ヲ聽キタイト思ヒマス、其當時一番最後ニ御尋致シタコトハ、讓渡、買収ト云フ點ニ付テ、値段ヲ決メル其基準ガナイ方ガ宜イ、決メテ置イタラ却テ惡イデハナイカ、決メナイタ方ガ宜カラウト云フ大臣ノ御答辯デアツタノ

デアリマス、私ハソレハ餘ニ大膽ナ考ヘ方  
デ宜シクナイト思ノ、鐵道ノ買收ニ致シマ  
シテモ、ヤハリ大體ノ極リガアル、乗合自  
動車ヲ省營ガ買收スルトカ補償スルトカ云  
フコトニ付テモ——決シテアレハ満足ナモ  
ノデハアリマセヌガ、補償法ト云フモノガ  
アル、サウシテ大體ノ標準ヲ示シテ置ケバ、  
最惡ノ場合デモ恐ラク此位ニハナルノダト  
云フコトガ業者ノ方デ考ヘラレルシ、想像  
モ出來マスガ、ソレガ更ニ決メテナイ、委  
員會ニ諮問シテ主務大臣ガ決定スルシングト  
云フコトニナツテ居ツテハ、若シ其命令ヲ出  
サレタ時ニ、丁度其範圍ニ入リマシタモノノ  
ハ大ナル不安ヲ持ツデハナイカ、斯ウ云フ  
風ニ私ニ思フ、殊ニ東京市ノ如キ大都市ニ  
於キマシテ、此調整ヲショウト云フ場谷ハ、  
例ヲ舉ゲテ見マスト、マア合併ノ勸告ノ間  
ハ宜シイ、話ガ纏フナケレバ出來ヌノデ差  
支ナイ、若モ東京市ニ對シテ民營ノ會社ヲ  
全部讓リ受ケロ、又民營ノ會社ニ對シテ東  
京市ヘ譲リ渡セ、斯ウ云フ命令ヲ若シ出シ  
タト假定致シマシタ時ニ、其金額ハ莫大ナ  
七百万圓以上ノ資金ヲ投ジテ居ル會社モア  
リマス、マア小サインデハ八万圓、十万圓  
モノデアル、一會社ニ致シマシテモ、現在  
ノモアリマスガ、兎ニ角一會社デ五百万圓、

七百万圓ト云フ資金ヲ投ジタ會社ガアル、ソレヲ主務省ノ方ガ裁定スル場合ニ、一定ノ基準モ示サナイデ置イテ、唯東京市へ譲リ渡セ、或ハ又某會社へ東京市ノ市電ナリ、或ハ「バス」ナリヲ譲リ渡セ、斯ウ云フ命令ヲ下シタ時ニ、ドウモ委員會ニシテモ、主務省ニシテモ、何ニモ據所ガナクテ、協議ノ上ニ値ヲ決メルト云フヤウナコトハ相當困難デヤナイカト思フ、又命令ヲ下スト云フコトニ付テハ、大抵甲乙會社ノ話合ガアッテ、話ガ纏ラヌ場合ニ行ハレル命令デアリマスノデ、何レモ命令サレタ甲ト乙ノ會社若クハ公營等ニ於テモ相當懸離レタ喰違ヒガアリ、又アラネバナラヌト思フノデアリマスガ、此場合ニ委員會ニ致シマシテモ、數百万圓、數千万圓ト云フ大キナ金額ヲ、唯標準モナクシテ委員會ニ於テ決メル、意見ヲ述ベルト云フヤウナコトモ餘リニ大膽過ギテ、責任ガ重過ギハシナイカ、主務省ニシテモ之ヲ裁定スル場合ニ如何ニモ責任ガ重過ギルト思フノデアリマスガ、サウ云フ意味カラ考ヘマシテ、私ハドウシテモ最低限度ノ基準ヲ示ス必要ガアル、例ヘバ利益ノ歩合ニ依ツテ是ヲ決メル、或ハ又資本金ニ依ツテ斯ウシタ率ヲ持ツ、或ハ又過去ヲ顧ミテ將來利益ガ増進スルカラ、斯ウ云フ

點ニハ斯ンナコトモ考慮スルト云フコトヲ大體考ヘテ置カナケレバナラナイ、殊ニ最近ノ基準モ示サナイデ置イテ、唯東京市へ譲リ渡セ、或ハ又某會社へ東京市ノ市電ナリ、或ハ「バス」ナリヲ譲リ渡セ、斯ウ云フ命令ヲ下シタ時ニ、ドウモ委員會ニシテモ、主務省ニシテモ、何ニモ據所ガナクテ、協議ノ上ニ値ヲ決メルト云フヤウナコトハ決メテ置ク必要ガアル、過去トカ將來ニ於ケル特別ナ事情ニ付テハ委員會等ニ諮問シテ、慎重ニソレ等ヲ考ヘテ決メルコトガ宜カラウト思ヒマスケレドモ、大體ニ於テドンナニ間違ツテモ此位ニハナルンダト云フコトガ、命令ヲ受ケタ會社トシテ想像ガ付カナケレバ、如何ニモ不安心ダ、ダカラ命令ヲ受ケタ當事者カラ申シマシテモ、サウ云フ必要ガアリ、又委員會ニ於キマシテモ、委員會ニ於ケル委員ノ責任ト致シマシテモ、其位ノコトガアッタ方ガ協議ガシ易イ、又主務省トシテハ尙更ラ是ガナケレバ責任ガ重過ギル、斯ウ思フ、サウ云フ點モウ一應大臣ノ御考ニハ進ンデ居ラヌケレドモ、將來非常ニ有希望ナモノモアリマセウシ、又同ジ著手狀態デモ有望デナイモノモアリマセウ、現在有希望ノ所ヲヤツテ居ツテ、更ニソレヲ擴大スルヤウナ擴大中ノモノモアルト云フヤウナコトデ、却テ是ハ基準ヲ決メズニ其地域々々ニ於ケル實際ノ情勢ニ照シテ、ヤハリ公正ニ諸般ノ事情ヲ織込ンデ決メタ方ガ却テ公正デアラウト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

**○中島國務大臣** 成ベクサウ云フ策動ニ依ツテ動カナイヤウナシッカリシタ委員會ヲ作リ、又委員會ノ答申ニ付テモ政府トシテハ十分ノ注意ヲ拂ツテ、サウ云フ無理ノナイヤウニ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス  
**○坂下委員** 私本會議ノ時ニモ申上げタ通り、委員會ノ構成ガ今ノ大臣ノ御考ノヤウニ他カラ動カサレナイ、又冷靜ナル考ノ、冷靜ナル立場ニ居ル人バカリガ選任サレ、バ大體ニ於テ今大臣ノ御考ニナツテ居ルヤウナコトデ行ケルダラウト思フノデアリマスガ、併ナガラドンナ人ガ選バレテ委員ニナリマシテモ、是ハ全智全能ノ神様デナイ、人間デアルカラ、大東京市ノ運動トカ、或ハ大會社ノ策動トカ云フモノニ多少デモ動カサレルト云フコトハ有勝チデハナイカト私ハ思フノデアリマス、此點ガ大ニ氣遣ハレルノデアリマスカラ、私ハドウシテモ例

ノ事情ニ即應シナイ場合ガ多カラウト考ヘテ居ルノデアリマス、地方鐵道ノ買收ノ如キモノハ、大體相當ノ年數ヲ營業シタ上ニ近三年間ナラ三年間ノ利益ヲ標準トシテ、其利益ノ何割ト云フヤウナコトハ決メテ置ク必要ガアル、過去トカ將來ニ於ケル特別ナ事情ニ付テハ委員會等ニ諮問シテ、慎重ニソレ等ヲ考ヘテ決メルコトガ宜カラウト思ヒマスケレドモ、是ハ種々ノ交通事業ヲ含ンデ居リマスノト、又調整サレル中ニハ、地方ニ依ツテ事情モ變リマセウシ、又著手シタバカリノモアリマセウシ、マダ何等ノ利益ヲ得ル程ニハ進ンデ居ラヌケレドモ、將來非常ニ有希望ナモノモアリマセウシ、又同ジ著手狀態デモ有望デナイモノモアリマセウ、現在有希望ノ所ヲヤツテ居ツテ、更ニソレヲ擴大スルヤウナ擴大中ノモノモアルト云フヤウナコトデ、却テ是ハ基準ヲ決メズニ其地域々々ニ於ケル實際ノ情勢ニ照シテ、ヤハリ公正ニ諸般ノ事情ヲ織込ンデ決メタ方ガ却テ公正デアラウト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

**○坂下委員** 大臣ノ御答ハ殆ド本會議ノ時ノ答辯ト同ジヤウデアリマスガ、サウ致シマスト、其地域々々ニ依リ、其問題ノ發生シタ時ニ委員會ニ諮ツテ決メルト云フコト正デアラウト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

東京ニ例ヲ取ツテ見マスト、假ニ東京乗合ヲ讓リ受ケヨ、斯ウ云フ命令ヲ下シタ時假定

ト云フコトガ正當ナ利益率ダ、斯ウ云フ目  
時代ニハ四朱ナラ四朱、或ハ五朱ナラ五朱  
モノヲ其五朱ナリ四朱ナリデ割ッタ率ガ先  
づ公正ナ最小限度ノ値段グラウト思フ、之  
ヲ基準ニシテ將來トカ過去トカ云フモノニ  
付テハ委員會ニ於テ能ク事情ヲ調査シテ、  
ソレニ大體ドノ位ヲ加ヘルトカドノ位ヲ引  
クトカ云フヤウナコトヲ、委員會竝ニ主務  
省ノ相談ニ委セテ行クト云フコトナレバ、  
サウ大キナ不安ハナイト思フノデアリマス  
ガ、ドノ點モ委員會ニ委セ、委員會ノ意見  
ヲ聽イテ主務大臣ガ裁定スルノダト云フコ  
トデハ、ドウモ私ハ其命令ヲ受ケタ甲乙ノ  
會社ナリ市ナリガ不安ヲ持ツノデハナイ  
カ、不安ヲ持テバ結局出來ルダケ安心ノ行  
クヤウニ委員會ヲ動カサウ、或ハ主務大臣  
ヲ動カサウ、斯ウ云フ運動ガ始マルモノデ  
アリマス、サウシタ運動ガ始マレバ、丁度  
今度ノ電力管理案ノヤウナモノデ、餘り大  
キイ利害ノ伴モノハ實際ニ忌ハシイコト  
ガアリマセヌデモ忌ハシイコトガアルヤウ  
ナ風説ガ立ツ、サウシマスト委員ト云フモノ

當考慮シナケレバナラスト私ハ思フノデアリ  
マス、今ノ所ドウシテモ大臣ハ委員會ト主  
務省ト能ク協議シ、委員會ノ意見ヲ聽イテ  
公正ナル値段ヲ決メル方ガ宜シイト云フ御  
考デアルナラバ、モウ少シ今申上ゲタ忌ハ  
シイ問題ヤ風説ガ起ルト云フコトモ考ヘテ、  
等ガ決定スルマデハ非常ニ不安デアリ、出  
來ル限り有利ナ立場ニ立チタイト云フコト  
考ヘ下ヌッテ、尙ホマダ此委員會モ一日ヤ二  
日位ハ掛ルノデハナイカト思ヒマスノデ、  
其間ニ御考ラシ直シテ、ドンナ最惡ノ場合  
デモ此位ハ要ルト云フヤウナ最小限度ノ基  
準ヲ設ケテ置ク方ガ宜イト私ハ何處マデモ  
考ヘマスカラ、是非御考ヲ願ッテ、若シ此委  
員會ノ開會中ニ幾ラカサウ云フコトモ決メ  
テ置ク方ガ宜カラウト云フ御考ガアリマシ  
タラ、此處デ私共其修正案ニ付テノ考ヘ方  
モアルノデアリマスカラ、卒直ニ御考ガ願  
タイト存ジマス、之ヲ特ニ申上ゲマシテ私  
ノ質問ヲ打切りマス

ハ最低ノ基準ダカラ之ニ又肉ヲ付ケロト言  
ウテモ、中々サウモ行カナイヤウニナルノ  
デアリマス、今度ノ調整法ハ或ル地域ノ調  
整ヲ決定致シマスト、ソコニ存在スル色々々ノ  
交通機關ガ調整ニ掛ルノデアリマシテ、中  
ニハマダ仕事ノ始マツタバカリノモノモアラ  
ウシ、工事ニ掛ツタバカリノモノモアリマセ  
ウ、或ハ過去何年カ營業シタモノモアリマ  
セウ、營業シテ來タモノノ中ニモ鐵道ノヤ  
カラ、一年カ二年ニ例ヘバ賣却サレルヤウ  
ナ交通機關モ入ッテ居リマスカラ、甚シク妻  
ヘテ居ルモノモアリ、又一向義ヘテ居ナイ  
ト云フヤウナ機關モアリマセウ、隨テサウ  
云フヤウナ事情モ能ク考慮ニ入レテ、十分  
ニ審議シテ、決シテ無理ノナイヤウニヤル  
コトガ、却テ基準ヲ置クヨリモ公正デアル  
ト考ヘラレルノデアリマスガ、尙ホ色々ノ  
點ニ付テアナタノ方デモ御考ヲ願ヒタイト  
思ヒマス

京市ニ於テハ乙ノ統制ノ方法ヲ執ル、大阪市ニ於テハ丙ノ統制ノ方法ヲ執ル、神戸市ニ於テハ丙ノ統制ノ方法ヲ執ル、一體自治體ヲ運營シテ行ク場合ニ於テハ甲ノ自治體ニ於テハ或ル統制ヲ執リ、乙ノ自治體ニ於テハ或ル統制ノ方法ヲ執ルト云フコトガ、將來自治體運用ノ上ニ於テ如何ヤウニ考ヘラレルカ、是ハ内務省ノ方ニ伺ヒタイト思ヒマス

○勝田政府委員 何カ一元的ノ方法ニ統制ガ出來レバ固ヨリ結構デアリマス、併ナガラ鐵道大臣モ度々御述ニナツテ居リマスル通り、ヤハリ斯ウ云フ法律ノ勦キマスル目的ガ交通ノ調整ト云フ所ニ決シテ居リマシテ、其内容ハ是亦鐵道大臣ガ度々御述ニナツテ居ル通リデアリマスルカラ、ドウ致シマシテモソコノ所デ最モ時宜ニ適シタ方法ヲ執ルヨリ仕方ガナイト只今ノ所デハ考ヘテ居ルノデアリマス

○淺沼委員 ソコデ大臣御伺シタイノハ、實ハ先程當業者ニ大體諸問シ、當業者ノ方カラモ要望ガアッタ云フコトヲ言ヘレマシタガ、今統制シヨウトスル客體ヲ考ヘマスル場合ニ於テハ、ソレドク自治體ガ統制ノ客體ニナツテ居ルト思フノデアリマス、而モ東京市ヲ例ニ取リマスルナラバ、東京市内



「バス」電車ヲ考ヘテ見レバ、市民ノ足デアリマス、市民ノ足デアル以上ハ、此市民ノ足ヲ會社ニ預ケルヨリモ、自治體デ持ッテ居ル方ガヤハリ適切デアルト思フ、サウシテ而モ假令缺損ガアツタ場合ヲ考ヘテ見テモ、市民ノ足デアル限リニ於テハ、自治體ガ之ヲ補ツテ行ク、例ヘバ東京市ノ路面電車ニ關スル議論モ色々アルト思フノデアリマスガ、今ノヤウナ國際的關係アル防空設備竝ニ現宜イカ惡イカト云フコトニ付テハ議論ガアツテ、路面電車ヨリモ他ノ方法ヲ交通運輸機關トシテ考フベキデハナカラウカト云フ議論モ出テ來ルト思フノデアリマス、併シ東京市自體デ考ヘ見マスレバ、路面電車ニ依ッテ運輸スル人員ハ大變ナモノデアル、何ト云ツテモ是ガ東京市内外ヲ通ズル運輸機關ノ王座ヲ占メテ居ルコトニナツテ居ル譯合デアリマスカラ、ソレヲヤメル譯ニモ行カヌ、結局ヤハリ市デ經營ヲシテ行カナケレバナラスト云フ立前デ、東京市ハ今マデヤツテ來テ、隨分苦シイ立場ニモ立チナガラ今マデ經營ヲ續ケテ來タト思フ、而モ其中ニ東京市デ申シマスナラバ、東京市自體ガヤラナケレバナラヌ復興事業ヲ電氣局デ背負

ヒナガラヤツテ來テ居ル、サウ云フヤウナ點ヲ考ヘテ、今自治體デ經營シテ居ルモノヲガ、總テノ場合ニ於テ穩當デアルト考ヘルノデアリマス、又答辯ニ依ツテ當局ノ意ノアル所モ大體諒承出來マスガ、一番複雜シテ居ル東京市ヲ又一番複雜ニ考ヘテ居ラレルヤウニモ承ツテ居ルノデアリマシテ、其點ハ東京市ノ實情及ビ自治體ニ於テ大イニヤリタイト云フ考ヲ持ツテ居ルコトヲ御考慮願ヒタイト云フコトヲ申上ゲマシテ、私ハ大臣ニ對スル質問ヲ打切りマス  
○星島委員長 本日ハ此程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラヤハリ此部屋デ開會致シマス、明日ハ必シモ大臣ノ出席ヲ求メズニ、各條ニ付テ政府委員カラ答辯シテ戴クコトニ願ヒタイト思ヒマス

午後五時十分散會

昭和十三年三月十日印刷

昭和十三年三月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局